

# 令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会

## 目 次

1. 概 要	
(1) 事業概要	1
(2) 決算概要	2
2. 法人運営	
(1) 理事会	3
(2) 評議員会	4
(3) 評議員選任・解任委員会	4
(4) 監査・出納調査	4
3. 地域福祉活動の推進	
(1) 地域福祉活動の支援	5
(2) 地域福祉コーディネート活動	8
(3) 多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業	8
(4) 地域力強化推進モデル事業	9
(5) 生活支援体制整備事業	11
(6) 地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業	12
(7) 高齢者いきがい事業	13
(8) 児童の育成支援	13
(9) 福祉教育の推進	18
(10) 障がい者(児)の支援	19
(11) ボランティア事業の推進	19
(12) 福祉団体の育成 事業	20
(13) 赤い羽根共同募金・歳末助けあい運動への協力	22
(14) 地区福祉懇談会の開催	22
4. 福祉サービスの利用支援	
(1) 生活支援相談	24
(2) 生活福祉資金等の貸付相談事業	25
(3) 日常生活自立支援事業	27
5. 在宅福祉サービスの推進	
(1) 介護保険サービス	29
(2) 地域包括支援センター事業	34
(3) 障がい福祉サービス事業	38
(4) 地域生活支援	38
(5) 外出支援	40
(6) 福祉人材の育成	40
6. 東日本大震災復興支援	41
7. 災害対応・支援活動	
(1) 事業継続計画（BCP）の見直し	41
(2) 災害時受援計画の策定	41
(3) 災害被災地支援	41
8. 福祉活動情報の発信	
(1) 社会福祉大会の開催	42
(2) 社会福祉協議会会報「福祉もりおか」の発行	42
(3) インターネットを利用した情報発信	43

9.	総合福祉センターの管理運営	
	(1) 利用実績	43
	(2) 団体利用件数	44
10.	職員の育成	45
11.	組織体制	
	(1) 評議員	46
	(2) 理事・監事	47
	(3) 評議員選任・解任委員	47
	(4) 職員	48

# 1. 概 要

## (1) 事業概要

少子高齢化の進行や人口減少、家族形態の変容、雇用形態の多様化、近隣住民の関係希薄化を背景に社会的孤立や生活困窮者の増加、子どもの貧困など新たな福祉課題が顕在化するなか、複雑多様化する課題を抱える解決困難な事例が多く、包括的な支援体制が必要となっています。

このような状況のなか、国は地域共生社会、地域包括ケアシステムの実現に向けて、制度や分野の縦割りを超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりが安心して暮らすことができる地域の仕組みづくりを進めています。

本会は、地域福祉を推進する団体として、第2期地域福祉活動計画の基本理念である「人と人がつながり共に支え合うまちづくり」に向けて、令和元年度においては市内11地区で福祉懇談会を開催し、今後の地域づくりについて市民の皆様と共に考え、また各地域において「ふれあい・いきいきサロン」活動や、各種相談対応を行ったところであります。

ボランティア活動の推進においては、ボランティア保険の加入促進を図るとともに情報提供を行い、養成研修では高校生や一般市民の多くの方々に参加いただき、さらには市民を対象とした福祉除雪活動をはじめとしたボランティアの育成に努めたところであります。

近年、国内で自然災害が頻発に発生するなか、災害時対応に向けて事業継続計画（BCP）の見直しを行うとともに、新たに災害時受援計画を策定し、災害時における業務の継続を図るとともに住民支援を図ることとし、また盛岡市総合防災訓練において災害ボランティアセンター設置訓練、職員安否確認訓練を行ったところであります。

次に、地域における深刻な生活課題や孤立等の問題解決に向けて、多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業、地域力強化推進モデル事業により、各福祉分野の事業所に相談支援包括化推進員を委嘱し、分野横断的に支援を行う体制により、あらゆる相談に対する支援体制の構築に取り組んだところであります。

また、地域福祉コーディネーターによる個別支援や地域住民による支え合いの仕組みづくりなど関係機関や民生委員、地域との連携協力により支援活動を行うとともに、高齢者の生活支援体制の構築に向けた取り組みや、低所得者等の相談者への生活福祉資金の相談や資金貸付対応を行いながら、県・市の関係行政機関、関係団体と連携し、支援ネットワークの一翼を担ってまいりました。

さらに、地域社会で自立した生活を送れるよう、福祉サービスの情報提供や日常生活自立支援事業の利用促進を図り、障がい者等の権利擁護や福祉サービスの利用支援を実施してきたところであります。

介護保険事業においては、高齢者等が一人ひとりの能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、各介護事業所で利用者本位のサービスを展開してきたところであります。なお、契約利用者の要介護度層の変化などにより一部の事業所について収入の減少がありましたが、介護職員がサービス向上に努め利用者増員に向けた活動を積極的に行うなど、介護保険事業全体での収支については黒字の経営となりました。

なお、本会事業の実施にあたっては、各事業の効果性等について検討を行い、必要な改善を行うとともに、職員育成基本方針に基づき、計画的な職員研修等を実施するなど、社協職員の育成に努めたところであります。

## (2) 決算概要

令和元年度収支決算は、資金収支計算書による収入合計は 685,155,731 円であり、前年度に比べ 40,116,651 円 (5.5%) の減額となりました。また、支出合計は 687,780,837 円であり、前年度に比べ 35,373,425 円 (4.9%) の減額となりました。このことから収支差額は△2,625,106 円となり、前期末支払資金残高 140,409,628 円を加えた当期末支払資金残高は 137,784,522 円となりました。

収支の内訳については、事業活動による収支は、収入は退職手当積立基金預け金差益、受託金収入、障害福祉サービス等事業収入の減収を主な要因として前年度より 13,230,740 円 (1.9%) 少ない 670,126,347 円となり、支出については、人件費支出の非常勤職員給与は増額となったものの退職給付支出が大幅に減額となったことから、前年度より 26,559,513 円 (3.9%) 少ない 657,924,998 円となりました。このような状況ではありますが、介護サービス事業所の経営努力により介護保険収入は 4,895,516 円 (2.0%) の増収となりました。

施設整備等による収支については、収入は市補助金が前年度に比べ 334,680 円 (10.9%) 少ない 2,739,000 円となった一方、支出は盛岡市総合福祉センターの避難器具や盛岡駅西口介護サービス事業所設備の整備など固定資産を取得したことから、前年度に比べ 3,638,842 円 (14.2%) 多い 8,072,900 円となりました。

その他の活動による収支については、収入は退職給付引当資産や財政運用基金積立資産の取崩収入が減額となったことから、前年度に比べ 26,551,231 円 (68.4%) 少ない 12,290,384 円となり、支出は財政運用基金積立資産や総合福祉センター補修準備積立資産への積立支出が減額となったことから、前年度に比べ 12,452,754 円 (36.4%) 少ない 21,782,939 円となりました。

また、貸借対照表による資産状況については、債券運用等により基金が若干増額となったものの財政運用基金積立金や総合福祉センター補修準備積立金が減少したことにより、純資産全体としては前年度に比べ 15,969,870 円少ない 517,860,454 円となりました。これらのことから、純資産の増減を示す当期活動増減差額は△18,352,859 円となり、次期繰越活動増減差額は前年度に比べ 9,757,542 円少ない 268,564,200 円となりました。

令和元年度は、収入の減少により減益となったところでありますが、今後、盛岡市総合福祉センターをはじめとした施設・設備の老朽化による改修費用の増加や事業・経営規模の拡大に見合った諸経費の増加などが見込まれることから、厳しい経営状況になることが考えられます。今後も引き続き採算性を意識した組織経営に資するとともに、事業・経営規模に沿った財源の確保に取り組みます。

## 2. 法人運営

### (1) 理事会

	開催年月日	内 容
第1回	令和元年5月28日	報告第1 寄附金について
		報告第2 平成30年度債券運用について
		報告第3 理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第4 平成30年度岩手県共同募金会盛岡市共同募金委員会事業報告及び決算について
		議案第1号 平成30年度事業報告について
		議案第2号 平成30年度収支決算について
		議案第3号 令和元年度第一次補正予算について
		議案第4号 評議員候補者の推薦について
		議案第5号 第58回盛岡市社会福祉大会の開催について
		議案第6号 評議員選任・解任委員会の招集について
議案第7号 評議員会の招集について		
第2回	6月18日	議案第8号 会長、副会長及び常務理事の選定について
第3回	8月20日	報告第5 会長及び常務理事の職務執行状況について
		報告第6 寄附金について
		報告第7 理事及び評議員を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第8 地域包括支援センター運営規程の一部改正に係る専決処理について
		報告第9 第58回盛岡市社会福祉大会の開催について
		議案第9号 諸規程の一部改正について
第4回	12月11日	報告第10 寄附金について
		報告第11 理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第12 介護保険サービス事業運営状況について
		議案第10号 令和元年度歳末たすけあい運動配分事業の実施について
		議案第11号 令和元年度第二次補正予算について
		議案第12号 評議員候補者の推薦について
		議案第13号 評議員選任・解任委員会の招集について
		議案第14号 評議員会の招集について
第5回	令和2年 3月17日	報告第13 会長及び常務理事の職務執行状況について
		報告第14 寄附金について
		報告第15 理事及び評議員を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		議案第15号 放課後児童健全育成事業所の運営規程の制定について
		議案第16号 諸規程の一部改正について
		議案第17号 令和元年度第三次補正予算について
		議案第18号 令和2年度事業計画について
		議案第19号 令和2年度予算について
		議案第20号 令和2年度債券運用計画について
		議案第21号 評議員会の決議の省略について

(2) 評議員会

	開催年月日	内 容
第1回	令和元年6月18日	報告第1 平成30年度岩手県共同募金会盛岡市共同募金委員会事業報告及び決算について
		報告第2 第58回盛岡市社会福祉大会の開催について
		議案第1号 平成30年度事業報告について
		議案第2号 平成30年度収支決算について
		議案第3号 令和元年度第一次補正予算について
		議案第4号 理事及び監事の選任について
第2回	12月20日	報告第3 諸規程の一部改正について
		議案第5号 令和元年度第二次補正予算について
第3回	令和2年3月25日 【決議の省略】	議案第6号 令和元年度第三次補正予算について
		議案第7号 令和2年度事業計画について
		議案第8号 令和2年度予算について

(3) 評議員選任・解任委員会

	開催年月日	内 容
第1回	令和元年6月4日	評議員の選任について
第2回	12月12日	評議員の選任について

(4) 監査・出納調査

実施年月日	区 分		内 容
令和元年5月15日	決算監査 出納調査	監 事	平成30年度事業及び決算について 平成31年1月～3月分
8月28日	出納調査	監 事	平成31年4月～令和元年6月分
11月22日	出納調査	監 事	令和元年7月～9月分
令和2年2月18日	出納調査	監 事	令和元年10月～12月分

### 3. 地域福祉活動の推進

#### (1) 地域福祉活動の支援

##### 1) 地区福祉推進会活動の支援

(ア) 地区福祉推進会活動費・事務費の助成

2,680千円

地区福祉推進会が主体的に行う、地域福祉推進のための調査、関係団体・機関との連絡調整、地区住民への福祉啓発活動等に要する活動費及び運営事務費に対して助成した。

[地区推進会助成基準 (1 推進会あたり)]

区 分	2,000 世帯未満	4,000 世帯未満	4,000 世帯以上
活動費助成	30,000 円	40,000 円	50,000 円
事務費助成	30,000 円	40,000 円	50,000 円
合 計	60,000 円	80,000 円	100,000 円

(イ) ふれあいシルバーサロン事業

6,093千円

ひとり暮らし高齢者等が、地域住民とのふれあい活動を通して、健康を保持し生きがいが高められるよう、地区福祉推進会が行う座談会・給食会の開催、地域ボランティアの組織化や高齢者の日常生活支援、伝承遊びやスポーツ交流会等の世代間交流活動について支援した。また、高齢者や地域住民が自らの健康管理や在宅介護に関する技術を習得する機会となる取り組みの促進を図った。

##### ① 開催状況

事 業 名	開催地区	開催回数	参加者数 (人)		
			高齢者	その他	合 計
1 ふれあい給食会事業	30	58	2,911	1,582	4,893
2 ふれあい座談会事業	26	51	1,840	1,127	2,967
3 ボランティア活動事業	27	513	6,067	5,415	11,482
4 世代間交流事業	32	65	1,886	4,932	6,818
5 介護教室事業	29	31	845	583	1,428
6 医療保健講座事業	30	31	1,056	587	1,643
合 計	174	749	14,605	14,226	28,831

※ 5及び6は盛岡市委託事業

##### ② ボランティア活動事業の主な活動内容

- ・ 公共施設清掃 (公園、歩道等)
- ・ ふれあいサロン活動(子育てサロンを含む)
- ・ 配食サービス
- ・ ミニデイサービス
- ・ 除雪活動

##### ③ 世代間交流事業の主な活動内容

- ・ 児童と高齢者のニュースポーツ交流会
- ・ 三世代運動会
- ・ 昔遊び教室 (めんこ、あやとり、竹とんぼ、こま、けん玉、おはじき、お手玉等)
- ・ 餅つき会、みずき団子作り、輪投げ大会
- ・ 園児との交流

(ウ) シルバーメイト事業

3,756千円

住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等を対象に、市内地区福祉推進会等が共助活動の一環として安否確認や声かけなどの見守り活動を行った。

シルバーメイト事業実施状況

地区福祉推進会名	シルバー(人)	メイト(人)
西 厨 川	19	26
北 厨 川	10	20
本 宮	4	10
築 川	8	21
中 野	74	54
つ な ぎ	8	40
青 山	10	21
仁 王	6	21
米 内	21	19
杜 陵	22	35
城 南	23	43
東 厨 川	120	121
仙 北	25	30
山 岸	31	31
桜 城	47	85
太 田	11	40
緑 が 丘	47	79
上 田	61	84
大 慈 寺	24	10
松 園	12	32
加 賀 野	9	9
見 前	16	20
津 志 田	0	2
乙 部	22	23
飯 岡	22	13
永 井	3	20
み た け	31	46
土 淵	8	41
巻 堀 姫 神	21	13
好 摩	19	26
渋 民	6	1
玉山藪川	37	29
合 計	777	1,065

2) ふれあい・いきいきサロン

一人暮らし高齢者等と地域住民との交流、情報交換、生活相談等が行われる拠点づくりや、地域住民によるサロンの設置・運営を支援するため、次の取り組みを進めた。

(7) サロン活動の取り組みに意向を示している町内会・自治会等の役員会及び研修会において、サロンの説明、先進活動事例の紹介、情報提供、設置の協力要請を行い、普及促進を図った。(2団体)

(4) 活動が継続されるよう世話人に対して開催チラシの作成やサロンへの訪問を行う支援活動をおこなった。また、子育てサロン交流会、ふれあい・いきいきサロン交流会を下記の日程で開催し、世話人同士の交流・情報提供の機会を創出した。(21団体)

○ふれあい・いきいきサロン交流会

開催日：令和2年1月23日(木)

開催場所：盛岡市総合福祉センター

参加人数：100名

(ウ) ふれあい・いきいきサロン開催箇所数（盛岡市内）

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
箇所	135	155	169	174	187	212	214	217	211

3) 地域支え合いマップ作成・活用

高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で、安心・安全に生活できるよう地域福祉を推進する人材（コーディネーター）の育成を行うと共に、一人暮らし高齢者等の災害時要援護者を地図上に掲載する「地域支え合いマップ」の作成、活用により地域支え合い活動を促進するため、次の取り組みを進めた。

(イ) 地域で行われる自助、共助の役割を学ぶ研修会や防災グッズ作成の体験等の開催支援を行うと共に、情報提供を行った。（4団体）

(ロ) 検討中または意向のある町内会・自治会等の役員会、座談会等において、事業の説明を行ない普及に努めた。（未着手団体説明会2団体）

(ウ) マップ作成地区数（町内会、自治会）※町内会独自作成含む支援地区の累計数

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
地区	151	159	170	180	210	210	211	211	214

4) ふれあいのまちづくり事業（玉山地域）

454千円

(ア) 福祉相談活動

玉山総合福祉センターにおいて、次のとおり専門家による福祉・生活課題に関する相談を実施した。相談件数は、前年度比比較25%増加した。

区分	相談員	回数	相談者
法律相談	弁護士	年3回	19名
相続・登記相談	司法書士	年1回	9名
人権・生活相談	人権擁護委員	月1回（第2水曜日）	3名
一般相談	職員	月曜日～金曜日	15名
相談者数合計			46名
相談件数			45件

(イ) チャイルドシートの貸出し

6歳未満児のいる世帯へチャイルドシート（ベビー、チャイルド、ジュニア）を貸し出した。

種類	保有台数	貸出台数
ベビーシート	40	7
チャイルドシート	49	25
ジュニアシート	34	4

(ロ) 除雪機の貸出し

ひとり暮らし世帯等の除雪活動を支援するため、玉山地域2自治会（舟田2自治会、馬場状小屋自治会）へ除雪機を貸し出した。

(エ) ふれあいサポートバンク

介護保険サービス以外の支援を行うサービスとして、利用会員と協力会員間による家事支援の利用は0件であった。

- 利用会員登録者 13名
- 協力会員登録者 12名
- 利用提供件数 0件
- 提供時間数 0時間

5) ICTを活用した見守り事業

岩手県社会福祉協議会が岩手県立大学と連携のもとに開発し運用する情報通信技術を活用した「いわて“おげんき”みまもりシステム」に、当協議会が「“おげんき”みまもりセンター」として一人暮らし高齢者等の見守りを行った。

みまもりセンターでは、地区福祉推進会、民生児童委員、町内会・自治会等の協力を得ながら地域住民の「みまもり協力者」が29人の一人暮らし高齢者等の安否確認を毎日行うとともに、孤立を防止し安心して毎日の生活を送られるよう支援した。

○実施地区及び登録者数

地区	桜城	上田	松園	西厨川	仙北	見前	本宮	山岸	仁王	青山	河南	城南	緑が丘	合計
人数	3	2	8	1	1	1	5	2	1	2	1	1	1	29

(2) 地域福祉コーディネーター活動

100千円

生活困窮や引きこもり、ゴミ屋敷、不登校などの個別課題や地域課題解決に向けて地域福祉コーディネーターを1人増員し、計3名で相談対応を行い、関係機関等と連携して取り組みを進め、新規相談件数は444件で、月平均37件であった。

また、盛岡市、フードバンク岩手と協働実施の「こども応援プロジェクト」などを通じて生活困窮のひとり親世帯へのアウトリーチを基本とした相談対応を行い、各種制度へ繋ぐとともに行政への支援要請や関係相談機関、民生委員等と連携しながら課題解決への取り組みを進めた。

地域から出された課題に対しては、地域住民を対象に障がい理解する講座を開催し、障がいに対する理解を深め、誰もが参加できる居場所づくりに向けて取り組みを行った。

○相談者・相談件数

区分	件数
新規相談者数	444
新規相談世帯数	211
対象者の性別	
(内訳)	
男	226
女	218
新規相談者の年代	
(内訳)	
0～19歳	83
20～29歳	25
30～39歳	47
40～49歳	60
50～59歳	63
60～64歳	20
65歳以上	146
相談方法(世帯数)	211
(内訳)	
電話	147
来所	48
出先・口頭	16
手紙	0
電子メール	0

区分	新規件数	延べ件数
相談対象数	444	2,847
(内訳)		
高齢者	143	670
身体障がい者	11	48
精神 "	47	532
知的 "	8	201
児童	72	596
一般	163	800
相談内容件数	483	2,490
(内訳)		
認知症	17	35
DV	12	33
病気	83	83
仕事	39	417
生活困窮	77	549
金銭関係	63	63
成年後見	1	2
地域課題	4	8
ひきこもり	29	212
ゴミ屋敷	23	143
自殺	1	18
災害	4	2
近隣トラブル	18	135
社会的孤立	28	332
一人親	7	94
障がい疑い	16	170
8050世帯	1	3
ダブルケア	1	0
その他	59	191

(3) 多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業(盛岡市委託事業)

18,708千円

盛岡市の第2期盛岡市地域福祉計画における地域トータルケアシステムの構築を実現するため、制度を活用しながら、福祉・保健・医療の分野横断的なネットワークと相談支援体制の構築、また盛岡市社会福祉協議会の第2期地域福祉活動計画における解決しにくい課題への対応を地域福祉コーディネーターが担い、個別支援を中心にアプローチ

を行った。

相談支援活動の中では、複数の課題を抱える家族が生活のしづらさを感じながらも、SOSを発信できない、発信しても受け止められない、相談窓口まで辿りつけないなどの現状があり、複合的な課題を抱える家族を「我が事」と捉え、受け止める地域と丸ごと受け止める機能を構築するため、専任の包括化推進員を1名配置し、複合的な課題に対する支援を行った。

また、新たに更生保護やひきこもり分野から包括化推進員を委嘱するとともに、まるごと相談会を実施し、多職種による市民の心配ごとや悩みごとの解決に向けた取り組みを行った。

(ア) 事業内容

相談支援包括化推進会議 (4回)	5月、7月、10月、2月
相談支援包括化推進会議 個別ケース会議 (5回)	5月、7月、9月、1月、3月
困りごとまるごと無料相談会 (5回)	6月、9月、12月、2月

(イ) 分科会の実施

分科会	回	内容・今後の展開
PR分科会	1回	まるごとよりそいネットワークもりおかのPR方法の検討。 令和元年5月15日に周知(新聞)を行い、分科会を終結。
中間就労分科会	2回	Book and Bookenergy in Morioka に関する協議。 多機関で受けた相談と中間的就労とを結びつける機能や、就労支援事業の交通整理を行う機能の創出を目指す。
シェルター分科会	2回	公設シェルター設置に関する協議及び、関係機関に対するシェルターニーズ調査を実施。 盛岡市に対し公設シェルター設置に関する提言を行い、分科会を終結。
ひきこもり支援分科会	4回	盛岡市におけるひきこもり支援の実態と課題を検討し、関係者からの聞き取り、ひきこもり相談窓口に関するアンケート調査を実施。 調査等による情報の整理と、今後必要と思われるひきこもり者への支援方法について検討を行い、新たな社会資源の創出を目指す。
おひとりさま分科会 (仮称)	1回	保証人分科会から名称を変更。対象を保証人がいないことに限定せず、身近に頼れる人がいない人への拡大。具体的な対象者と必要な支援や取り組みについて検討する。

(ウ) 実施事業

- ①相談者等に対する支援の実施(相談支援包括化推進員:専任1名、兼任18名)
- ②相談支援包括化ネットワークの構築
- ③相談支援包括化推進会議の開催(4回)
- ④個別ケース会議の開催(5回)
- ⑤分科会の開催
- ⑥困りごとまるごと相談会の開催(4回)
- ⑦Book and Bookenergy in Morioka(中間的就労事業)
- ⑧相談支援包括化推進員の派遣
- ⑨仙北地区障がい理解講座への協力(4月及び5月、その他年間を通して打ち合わせへアドバイザー参加)

(4) 地域力強化推進モデル事業(盛岡市委託事業)

10,875千円

自分の住んでいる地域課題や地域づくりを一部の人に任せるのではなく、住民や町内会、自治会などの地縁組織をはじめ、福祉分野に限らず地域や産業等の他分野に対して働きかけや支援を行った。

また、地区福祉懇談会で地域住民から出された課題や地域づくりの意見に対して、マンションの多い都市型の杜陵地区と、一戸建て新興住宅開発の進むみたけ地区、山間部がある築川地区の3地区で活動を行った。

(ア) 杜陵地区

○第5回杜陵地区マンションサミットの開催

日 時 令和元年6月13日  
 会 場 杜陵老人福祉センター  
 内 容 「みんなのアイデアでやってみよう！杜陵防災訓練」をテーマに意見交換  
 参加者 42名

○杜陵コラボ会の開催

マンションサミットで話し合われた内容の実践に向けた協力者による話し合いを杜陵老人福祉センターで次のとおり行った。

回	期 日	内 容	参加者
1	令和元年11月7日	協力者の顔合わせ・交流	27名
2	令和元年12月20日	活動案について意見交換	16名
3	令和2年1月24日	活動の絞り込み・活動決定	15名
4	令和2年2月18日	具体的な活動内容について意見交換・役割分担（防災ウォーク・学習会 班と避難所準備・防災食班）	21名

(イ) みたけ地区 ボランティア養成講座の開催

地域の集いの場の担い手や支援が必要な人を支援者育成のため、ボランティア養成講座を実施し、実践活動につなげる取り組みを行った。

①ボランティア養成講座

期 日	内 容	参加者
令和元年11月30日	・地域課題の学び ・みたけのまちのボランティア活動実践から学ぶこと ・グループワーク	32名
平成2年1月25日	・地域と自分との関わりについて考える ・ドリームマップについて ・ドリームマップ作成	13名
令和2年2月8日	・ドリームマップについて ・ドリームマップ完成 ・ドリームマップ発表会	24名

②活動者による子どもの宿題支援と地域交流の場の実施

「レッツエンジョイ！！サマースクールinみたけ」の開催

日 時 令和元年8月5日～6日（2日間）  
 場 所 みたけ地区活動センター  
 参加者 151名  
 内 容 小学生を対象にした夏休みの宿題支援と交流遊びの開催

「レッツエンジョイ！！ウィンタースクールinみたけ」の開催

日 時 令和元年12月26日  
 場 所 みたけ地区活動センター  
 参加者 90名  
 内 容 小学生を対象にした冬休みの宿題支援と他ボランティア団体との共同による交流遊びの開催

(ウ) 築川地区

全世代で地域の子育てを行う場としての子育てサロンの開催及び、休耕田を活用したひきこもり当事者会と誰でも集うことが出来る畑作業を行い、地域の居場所づくりを行った。

①子育てサロンの開催

開催日	活動内容	参加者
6月20日	自由遊び・絵本読み聞かせ・おやつ	7名
9月20日	自由遊び・絵本読み聞かせ・おやつ	13名
2月20日	ひな祭り制作活動・自由遊び・絵本読み聞かせ・おやつ	10名

②誰でも集える居場所について

開催日	活動内容	参加者数
6月12日	さつま芋苗付け	当事者6名、社協3名
10月31日	さつま芋の収穫	当事者4名、社協2名
11月16日	焼き芋会	当事者4名、児童センター8名、地域住民4名、ボランティア5名、社協2名

※毎月2回程度の畑作業を実施。

(5) 生活支援体制整備事業（盛岡市委託事業）

5,718千円

「住み慣れた地域での暮らし」を実現する地域包括ケアシステムの構築のため、住民主体で支え合う生活支援の仕組みづくりに向けて、担い手発掘や第2層生活支援コーディネーター支援を行った。

(7) 地域ケア推進会議の開催

前年度に引き続き、高齢者のゴミ出し支援をテーマに見前地区の取り組みを検討した。また、公営の集合住宅を追加し、地域の学校等とのゴミ出し支援協力体制について協議をした。

地域ケア推進会議（2回）	9月5日、2月6日
地域ケア推進会議ワーキンググループ（2回）	10月30日、1月16日

(i) 盛岡市生活支援体制整備事業フォーラム「第1回結っこ座談会」の開催

期 日 令和元年7月3日

場 所 岩手教育会館多目的ホール

参加者 272名

内 容 講演 「地域あるある物語～みんなで考えよう地域の仕組みづくり～」

講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

事例報告 住民による地域の仕組みづくり報告

「空き家をミナナの居場所へ」高松団地自治会長 田村 命保 氏

「みんなでつくったオレンジリングカフェ」にしくり広場 高橋 幸一 氏、吉田 和久 氏

「SOSからはじまったゴミ出し支援」見前地区福祉推進会長 柿木 和夫 氏

(7) 第2層生活支援コーディネーターの支援【令和元年度重点取組項目】

- ・生活支援コーディネーターミーティングの開催

開催数 4回（4月16日、6月18日、8月27日、3月12日）

場 所 盛岡市総合福祉センター

内 容 圏域の活動に関わる情報交換、結っこ座談会の企画、四半期報告書について、その他

- ・生活支援コーディネーター勉強会の開催

回	期 日	場 所	内 容
第1回	10月15日	盛岡市総合福祉センター	SDGs入門講座～カードゲーム2030 SDGsを理解しよう～ 講師 岩手県中小企業家同友会事務局長 菊田 哲 氏
第2回	12月17日	盛岡市総合福祉センター	グラフィック・ファシリテーション講座 講師 特定非営利活動法人点空社 藤尾 智子 氏、岡市 久美子 氏、大吹 哲也 氏

- ・地域包括支援センター個別訪問の実施

開催数 3回（4月、6月、9月）

対 象 地域包括支援センター第2層生活支援コーディネーター、主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士等

- ・第3層協議体および生活支援プロジェクトチームへの活動支援（訪問）86件

(e) サロン支援

担い手となる意欲ある住民の発掘や社会資源の調査および状況把握のため、サロン及びサークル等への訪問活動を実施した。（18件）

また、地域貢献に意欲のある企業・団体とサロン世話人とのマッチングを目的に、サロン活動交流会を開催した。

○いきいきふれあいサロン交流会

期 日 令和2年1月23日

場 所 盛岡市総合福祉センター

参加者 100名

内 容 情報提供(助成金情報)、参加団体PRタイム、交流タイム(個別ブース相談、カルタ・小物づくり体験等)

(6) 地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業(盛岡市委託事業)

3,177千円

地域の社会資源を活用しながら、地域における日常生活の支えあいの可能性を高めるためのボランティア活動による取り組み、コミュニティベースの経済循環への仕組みの構築に向けて、山岸・加賀野・乙部(大ケ生)地区で実験、調査研究を行った。

(ア) 大ケ生地区おでかけバス

平成31年2月から開始したおでかけバス事業試験運行の通じての実績は下記のとおりであった。

運行日数:54日間(上大ケ生13日間、下大ケ生13日間、上大ケ生及び下大ケ生統合実施28日間)

利用実人数:19名

協力ボランティア:8名

延べ乗車回数:196回

運行場所別回数:下表のとおり

No	場 所	利用 日数	利用 人数	備 考
1	乙部老人福祉センター	0日	0人	
2	金子胃腸科内科	27日	35人	
3	乙部郵便局	1日	1人	
4	乙部出張所	1日	1人	
5	たもり乙部店	48日	128人	
6	盛岡赤十字病院	0日	0人	H31年5月～R2年1月運行
7	盛岡南ショッピングセンターSansa	7日	12人	R1年7月～R2年1月運行
8	矢幅駅方面(マルイチ・マックスバリュ・ビッグハウス等)	5日	19人	R2年2月～3月運行

(イ) 加賀野地区おでかけバス

加賀野地区のおでかけバスは、運転ボランティアの確保が困難であったことから、地域行事への参加支援としてタクシー事業者との連携による高齢者の外出支援を行った。

なお、令和元年度末に予定していた当該地区での行事が中止となったため、実証実験は2回の実施となった。

【せきれいの会】※加賀野地区福祉推進会主催

日 時:令和元年7月10日(水)

参加者:10名(実際に乗車した人数)※総参加者 約40人

内 容:地区福祉センターで開催された地区内の高齢者を対象とした給食会において、おでかけバス車両を利用し、各自宅まで送迎を行った。

【秋の遠足会】※盛岡市社会福祉協議会主催

日 時:令和元年11月12日(火)

参加者:11人

内 容:タクシーを利用し、産直での買い物や昼食後、自宅まで送迎

(ウ) 山岸地区シニアで畑を楽しむ会

平成30年度から事業を始めた山岸地区では、地域住民が定期的に集まり、野菜作りを通じた生きがいと地域の居場所づくり目的とするとともに、収穫した野菜を販売することで、今後の活動費とした。また、JA職員を講師に迎え、家庭菜園教室を行い、市民活動の意識啓発を行った。事業終了後は、住民主体での団体を立ち上げ、活動を継続していくこととなった。

【山岸地区家庭菜園教室】

日 時:令和2年2月15日(土)

参加者:24名

講 師:講師:JAいわて中央 サブセンター盛岡 吉田 周平 氏

## (7) 高齢者いきがい事業

高齢者の健康増進活動、創作活動、社会参加等の生きがい活動について、関係団体とともに開催した。

### 1) 老人スポーツ祭典・作品展・芸能大会の支援

548 千円

高齢者の生活を生きがいのあるものにするため、老人クラブ連合会および市と共催し、高齢者のスポーツ活動、創作活動、趣味・文化活動を行った。

#### (ア) 市制施行 130 周年記念 第 45 回 盛岡市老人スポーツ祭典

期 日 令和元年 6 月 29 日  
会 場 岩手県営運動公園陸上競技場  
参 加 選手 784 名、補助員 38 名

#### (イ) 市制施行 130 周年記念 第 56 回 盛岡市老人作品展

期 日 令和元年 10 月 23 日～24 日  
会 場 盛岡市総合福祉センター 4F 講堂  
参 加 個人 127 名、団体 4 施設 141 名、出品数 238 点

#### (ウ) 市制施行 130 周年記念 第 50 回 盛岡市老人芸能大会

期 日 令和 2 年 2 月 6 日  
会 場 岩手県民会館 大ホール  
参 加 出演 37 団体 368 名、入場者数 約 1,300 名  
内 容 おどり、ダンス、合唱等

### 2) 市民福祉茶会

63 千円

盛岡茶道協会との共催による茶会に 70 歳以上の高齢者を対象として参加費割引券を配付した。また、児童を対象にした「ふれあい交流福祉茶会」を開催し、茶席を通じて茶道を学び、参加高齢者との交流を深めた。

#### (ア) 市民福祉茶会

開催数 5 回 (5 月 6 日、6 月 3 日、7 月 1 日、9 月 2 日、11 月 4 日)  
※3 月は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止  
場 所 杜陵老人福祉センター 賜松軒および 2 階広間  
70 歳以上の高齢優待者 51 名

#### (イ) ふれあい交流福祉茶会

期 日 令和元年 9 月 1 日 (日)  
場 所 杜陵老人福祉センター 賜松軒および 2 階広間  
参加者 子ども 6 名 大人 2 名 計 8 名

## (8) 児童の育成支援

ひとり親家庭、放課後児童や子ども会の健全育成に関係機関等と連携を図りながら実施するとともに、児童・生徒の福祉教育を行った。

### 1) ひとり親家庭の支援

ひとり親家庭を対象に、盛岡市母子寡婦福祉協会、盛岡市子ども青少年課と共催で、親と子のふれあいクリスマス会を開催し、家庭間相互の交流と児童の健全育成を図った。

期 日 令和元年 12 月 7 日 (土)  
会 場 盛岡市総合福祉センター 4 階講堂  
参加者 73 名 (内訳) 大人 37 名、子ども 36 名

2) 児童福祉週間運動・支援

29 千円

5月5日から5月11日までを中心とした児童福祉週間に、盛岡市子ども会育成会連絡協議会と共催で「歩け歩け運動」を実施し、児童の交流を図った。

また、児童の健全育成を目的に講演会を開催し、盛岡市子ども会育成会連絡協議会の会員のほか民生委員や児童委員が参加した。

(7) 第46回歩け歩け運動（共催 子ども会育成会連絡協議会）

期 日 令和元年5月5日  
 会 場 高松の池～愛宕山山頂  
 参加者 37名

(4) 児童福祉講演会（共催 盛岡市民生児童委員連絡協議会・盛岡市子ども会育成会連絡協議会）

期 日 令和元年5月19日  
 会 場 盛岡市総合福祉センター 4階講堂  
 講 師 岩手県盛岡東警察署 生活安全課長 藤島 良則 氏  
 演 題 「児童を取り巻く環境と現状」  
 参加者 54名

3) 児童館の管理運営事業（盛岡市指定管理者指定事業）

88,026 千円

玉山地域に設置する盛岡市立児童館5館の指定管理者として、放課後及び学校休業日における児童の健全な遊びと幼児の保育を通して児童の健全育成に努めた。前年度と比較し、登録児童数は10.4%、利用者数は16.6%それぞれ減少した。

(7) 運営児童館

児童館名	運営区分	所在地	電話番号
盛岡市立巻堀児童館	幼児・学童混合保育型	盛岡市巻堀字巻堀 101-1	019-682-0228
盛岡市立日戸児童館	学童保育型	盛岡市日戸字市の坪 25-1	019-685-2433
盛岡市立好摩児童館	学童保育型	盛岡市好摩字野中 69-85	019-682-0208
盛岡市立生出児童館	幼児・学童混合保育型	盛岡市下田字仲平 66-2	019-683-2088
盛岡市立渋民児童館	学童保育型	盛岡市渋民字鶴塚 103	019-683-3020

(4) 職員数（単位：人）

職 名	巻 堀	日 戸	好 摩	生 出	渋 民	合 計
館長	1	1	1	1	1	5
主任児童厚生員	1	1	0	0	0	2
児童厚生員	0	0	0	0	0	0
児童厚生員（嘱託）	1	0	2	2	2	7
児童厚生員（非常勤）	4(3)	3(1)	4(2)	4(0)	6(1)	21(7)
合 計	7(3)	5(1)	7(2)	7(0)	9(1)	35(7)

※（ ）内は児童厚生員（非常勤職員）の他館との兼務者数

(7) 運営実績

ア) 開館時間

区 分	月曜日～金曜日	土曜日	学校休業日
幼 児 型	8:00 ～ 18:00	8:00 ～ 12:00	—
学童保育型	10:30 ～ 19:00	8:00 ～ 18:00	8:00 ～ 19:00

※休館日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始

イ) 登録児童数 (単位: 人)

区 分	巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合 計
幼児 年少	1	-	-	3	-	4
年中	0	-	-	3	-	3
年長	1	-	-	5	-	6
小 計	2	-	-	11	-	13
学童 1年生	2	4	17	7	34	64
2年生	4	3	19	5	43	74
3年生	7	5	17	3	30	62
4年生	8	6	9	6	24	53
5年生	4	5	13	3	9	34
6年生	4	7	1	3	5	20
小 計	29	30	76	27	145	307
合 計	31	30	76	38	145	320

ウ) 開館日数・延べ利用者数

区 分	巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合 計	
開館日数 (日)	288	285	290	291	290	1,444	
利用者数 (人)	幼児・学童	6,089	6,342	13,062	7,875	27,692	61,060
	一般	454	515	690	556	298	2,513
	合 計	6,543	6,857	13,752	8,431	27,990	63,573

※ 一般: 未登録幼児・学童、中学生、高校生、父母会、老人クラブ等

エ) 年間活動実績

月	児童の活動	参加者数 (人)						父母の会活動
		巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計	
4	入館を祝う会(入館式) 清掃ボランティア 幼児交流会	8 2	38	65 37	64	142 61	309 98 2	入館式 父母の会役員会
5	こどもの日お祝い会 農園作業 地区運動会(参加) ウォークラリー・ゲーム大会 自然体験 体育教室 幼児交流会 子どもの日茶会	32 5	30 0	66 10	25 26	0 28 98	129 68 26 98 25 33 51	父母の会役員会 農園作業 地区運動会
6	親子遠足 体験学習(講座・野外活動等) プール教室(ゆびあす) 観劇会	46 8		117	68 20	40	114 40 28 117	親子遠足 父母の会役員会 児童館運営委員会
7	七夕お楽しみ会 夕涼み会(7月~8月) 児童館・夏祭り(交流) 流しそうめん大会 ナイトウォークラリー スポーツ教室(プール等) 学童交流会	32 126	100 30	65 40	12 104	131 294 0	240 230 394 70 70 22 192	父母の会役員会 夕涼み会 夏祭り 親子体験教室 親子遠足 園庭草取り

月	児童の活動	参加者数 (人)						父母の会活動
		巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計	
8	お泊り会	23			30		53	父母の会役員会 文化祭作品制作 バザー 施設訪問
	体験学習(自然体験・社会見学等)	17		120			17	
	バザー						120	
	お話し会			30			30	
	教室(啄木かるた・クッキング等)		37	15			52	
	プール教室(ゆびあす)	28			9	85	85	
	施設訪問		11				70	
手作り絵本教室	12			59		12		
9	世代間交流(行事・運動会・訪問等)	22			12	8	42	体験学習等 親子体験教室
	体験学習等				52	0	52	
	敬老の日プレゼント製作	2	30			147	179	
	お月見会	6	30	54		147	237	
	お月見茶会			78			78	
10	体験学習(リンゴ狩・社会学習等)	4		47	39	26	116	合同文化祭 親子遠足
	世代間交流等(収穫祭・ランドゴルフ等)		48	63			111	
	お月見会				14		14	
	施設訪問				14		14	
	お茶会	17					17	
11	体験学習		39	12			51	父母の会役員会 親子軽スポーツ 世代間交流 バザー
	体育教室(親子リトミック教室等)			31	22		53	
	勤労感謝プレゼントづくり	32	30	0	42	148	252	
	チャリティーバザー					134	134	
	幼児交流会				2		2	
12	クリスマス会	30	30	72	87	128	347	父母の会役員会
	生活発表会	0			87		87	
	施設訪問			11			11	
	お楽しみ会(昼食会)	19	30	40	32	54	175	
	お茶会			37			66	
1	餅つき会(交流)	40					40	餅つき会 世代間交流会
	新春お楽しみ会	25	30	0		131	186	
	世代間交流会(水木団子他)		44	65	44	0	153	
	体験活動(スケート等)	20	26	0	22	97	165	
	段ボールハウス製作		30	36		48	66	
	そろばん・クッキング・かるた等	7		48			55	
2	節分・バレンタイン・お楽しみ会	34	90	96	62	270	552	父母の会役員会
	世代間交流(節分等)	24					24	
3	ひな祭り会	16	30	57	14	145	264	父母の会役員会 父母の会総会 卒館式
	お別れ会(修了パーティー)	0	30			145	175	
	卒館式	10			27		37	
	ひなまつりお茶会			22			22	
	ビリヤード教室			10			10	

※ 毎月：お誕生会、映画会

※ 随時：遊樂訓練、交通安全教室、一輪車検定、縄跳び検定、クリーン活動、発育測定、花植え等

#### 4) 学童クラブの管理運営事業(放課後児童健全育成事業) (盛岡市委託事業)

都南こどもの家及び学童クラブにおいて、学区内の留守家庭児童の放課後及び学校休業日における保育と健全育成に努めた。前年度に比較し、加入児童数は18%、利用者数は38.4%それぞれ減少した。

##### (ア) 都南こどもの家

7,944千円

- ア) 所在地 盛岡市津志田14-20  
イ) 電話番号 019-637-0602  
ウ) 職員配置 所長1名(兼務)、所長補佐1名(嘱託)、児童厚生員1名(嘱託)、非常勤補助職員6名  
エ) 開設時間 月曜日～金曜日 11:00～18:00 土曜日・学校休業日 8:00～18:00  
※ 休所日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始

ホ) 運営実績

① 年間開設日数 289日

② 加入児童数 (単位:人)

1年生	2年生	3年生	合計
15	11	23	49

③ 開設日数・施設利用者数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開設日数(日)	24	22	25	26	26	23	25	24	24	22	23	25	289
利用者(人)	577	501	511	562	446	442	478	474	466	420	351	294	5,522

④ 年間活動実績

月	活 動 方 針	実 施 行 事	参 加 者
4	少しずつ新しい環境に慣れよう	22日 プラ板工作 24日 新入生歓迎会	20名 24名
5	ゆったりとした気持ちで好きな遊びをしよう	10日 都南こどもの家父母の会役員会 17日 都南こどもの家父母の会総会 27日 新聞紙遊び	保護者 7名 保護者 10名 委任状 29名 20名
6	班活動に協力し合おう	17～26日 父母の会草取り奉仕 17日 なわとび記録会 " 避難訓練 (地震を想定)	保護者 12名 17名 17名
7	行事に参加して友達との交流を深めよう	30日 チャレンジゲーム 31日 防犯教室 (見前幹部交番に協力依頼)	20名 25名
8	自由に自分の気持ちを表現してみよう	8日 ミニコンサート (社会福祉協議会職員) 9日 絵の具遊び 23日 夏のつどいの会	25名 26名 34名 保護者 4名
9	友達と一緒に身体を動かして遊ぼう	11日 プラ板工作 17日 避難訓練 (地震を想定) 24～27日 父母の会草取り奉仕	24名 23名 保護者 9名
10	友達と協力してこどもまつりの準備をしよう	3日 こどもまつり展示作品製作 (紙粘土工作) 4日 都南こどもの家父母の会役員会 21日 こどもまつり展示作品製作 (プラ板工作)	26名 保護者 9名 22名
11	いろんなことにチャレンジして楽しいことを発見しよう	2日 こどもまつり 27日 避難訓練 (1年生のみ。火事を想定)	29名 保護者22名 5名
12	行事を通して参加する意味を知ろう	17日 避難訓練 (火事を想定) 26日 クリスマス会 27日 大掃除	28名 41名 34名
1	お正月遊びを楽しもう	7日 かるた会 9日 ドッジビー大会	30名 29名
2	寒さに負けず思いっきり遊んでみよう	3日 豆まき 10日 紙ひこうき飛ばし 14日 ぶんぶんごま作り	21名 10名 9名
3	自分で考えて行動してみよう	なわとび記録会 (新型コロナウイルス感染予防のため中止) お別れ会 (新型コロナウイルス感染予防のため中止)	

(イ) 外山学童クラブ

6,637千円

ア) 所在地 盛岡市藪川字外山93-1 (外山公民館内)

イ) 電話番号 019-669-1806

ウ) 職員配置 所長 (嘱託) 1名、児童厚生員 (嘱託) 1名、児童厚生員 (非常勤) 4名

エ) 開設時間 月曜日～金曜日 10:30～19:00 土曜日 8:00～18:00 学校休業日 8:00～19:00

※ 休所日: 日曜日、国民の祝日・休日、年末年始

ホ) 運営実績

① 年間開設日数 279日

② 加入児童数 (単位:人)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
0	1	0	0	0	0	1

③ 開設日数・施設利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)	24	22	25	26	21	23	23	24	23	21	23	24	279
利用者(人)	17	22	24	20	34	24	22	21	23	15	25	9	256

④ 年間活動実績

月	児童の活動	人数	父母の会活動	月	児童の活動	人数	父母の会活動
4	進級お祝い会	1人		10	自然体験教室	1人	
	クリーン活動	1人					
5	子どもの日お楽しみ会	1人		11	収穫感謝祭 クッキング教室	1人 1人	
6	自然体験教室 ガーデニング教室	1人		12	クリスマスケーキ作り	1人	
7	学童交流会 社会科見学	1人	役員会	1	お正月遊び 書き初め会 みずき団子作り	1人	
		1人				1人	
		1人				1人	
8	夕涼み会 工作教室	17人		2	豆まき会 雪上ゲーム大会	1人	役員会
		1人				1人	
9	お月見会 体験教室 清掃活動	1人		3	ひなまつり会	1人	役員会・総会
		2人					
		1人					

(9) 福祉教育の推進

198千円

ア) 福祉作文・福祉標語コンクール

小・中学校の児童生徒が高齢者や障がい者への「優しさ・思いやり・助け合い」の心を養い、福祉への理解と関心を高めることを目的に、福祉作文と福祉標語のコンクールを開催した。各部門の最優秀作品を盛岡市社会福祉大会で表彰するとともに、被表彰者による朗読発表を行った。

〔最優秀者表彰者〕 福祉作文 小学校(低学年・中学年・高学年)、中学校 各1名  
福祉標語 小学校(低学年・中学年・高学年)、中学校 各1名

イ) キャップ・ハンディ体験

小・中・高等学校、企業や市民を対象に福祉教育の一環として行う、キャップ・ハンディ体験学習(アイマスク体験、車いす体験、高齢者の疑似体験)や福祉に関する講話にボランティアや職員を派遣し、高齢者や障がい者への理解を深めた。なお、参加人数は1,811名で、前年度と比較し20%減少した。

ア) 派遣実績

① 小学校 23校 30回 1655名

(厨川、青山、大新、中野、桜城、大慈寺、永井、上田、津志田、月が丘、向中野、見前南、松園、北厨川、山王、城南、太田東、玉山、好摩、巻堀、都南東、渋民、生田)

② 中学校 2校 126名(松園、盛岡白百合学園)

③ その他 1団体 30名(盛岡視覚支援学校)

イ) 用具貸出し件数 2件(盛岡市役所、見前南小学校)

(9) 福祉教育に関する学習会

65千円

市内小中学校の福祉教育担当教員等を対象に、地域における福祉教育事業（仁王地区寺子屋宿題しよう会）に関して、見学および体験を予定したが、当日キャンセルなども含め、参加がなかったため、未実施となった。

(a) 赤い羽根共同募金出前講座

市内小中学校および専門学校、福祉団体等を対象に職員を派遣し、共同募金の使途や歴史に関する講座および審査委員体験等のプログラムを実施し、地域福祉活動としての共同募金運動理解の促進と啓発を行った。

派遣先	学校数	人数	摘要
小学校	1校	15名	厨川小学校JRC委員会
中学校	1校	22名	松園中学校ボランティア委員会
専門学校	1校	15名	盛岡医療福祉専門学校心理福祉学科

(10) 障がい者（児）の支援

障がい者（児）がスポーツ、遊びなどを通して社会参加やボランティア等との交流が促進されるよう支援したほか、地域で日常生活を送る上での援助サービスの提供に努めた。

1) 不利益な取り扱いに関する相談受付（岩手県社会福祉協議会委託事業）

「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例」に基づき、障がいのある方に対する不利益な取扱いに関する相談は1件であった。

2) 岩手県身体障がい者福祉大会への支援・協力

岩手県身体障害者福祉協会、盛岡市身体障害者協議会主催の岩手県身体障がい者福祉大会に対し、盛岡市と共に開催経費を負担した。また、大会運営へのボランティア募集、係員協力等の支援を行った。

3) 心身障がい児者一時介護の支援

心身に障がいのある児童の保護者が傷病や社会的理由によって、家庭における介護が一時的に困難となった場合に、第三者に一時的に介護を依頼するために要する経費助成は0件でした。

(11) ボランティア事業の推進

市民のボランティア活動への参加を促進するため、ボランティアの養成、登録・斡旋、ネットワークづくりへの支援を行うとともに、ボランティア保険の加入やボランティア団体の活動に対して助成を行った。

前年度と比較し、ボランティア登録者数は3%、ボランティア活動保険加入者数は6%増加した。

1) ボランティアの養成研修

478千円

① 高校生ボランティアスクールの開催

ア) 日時 令和元年7月20日（土）～8月5日（月）

イ) 会場 盛岡市総合福祉センター他

ウ) 参加者 延べ58名

エ) 内容 ボランティア基礎講話、グループワーク、仁王地区「寺子屋宿題しよう会」等での児童の学習支援活動体験

② ボランティア入門講座の開催

ア) 日時 令和2年1月25日

イ) 会場 盛岡市総合福祉センター

ウ) 参加者 21名

エ) 内容 ボランティア基礎講話、子ども食堂に関する講話、ボランティア活動の紹介等

③ ボランティア入門講座後に希望者でのボランティアカフェの開催

ア) 日時 令和2年3月4日

イ) 会場 盛岡市総合福祉センター

ウ) 参加者 4名

エ) 内容 グループワーク、活動紹介等

## 2) ボランティアの登録・マッチング

- (ア) ボランティアの登録 11,561名 (204個人、142グループ11,357名)
- (イ) ボランティアの斡旋・派遣
  - ア) 社協行事協力 362名 (37グループ)
  - イ) 福祉施設行事協力 80名 (延べ37グループ)
  - ウ) 在宅支援活動 13名
  - エ) 福祉施設等活動 15名
  - オ) 震災復興支援 20名
  - カ) その他の活動 25名

## 3) ボランティア・市民活動ネットワークの推進

1,660千円

- (ア) 盛岡市ボランティア連絡協議会への活動助成
- (イ) 「ぼられんネットかわらばん」(A4版)の発行
- (ウ) 盛岡市ボランティアまつり「ふれあい広場」の開催  
(令和元年9月8日(日) 市総合福祉センター ボランティア約100名 来訪者 約605名)
- (エ) ボランティア研修会の開催[令和2年2月15日 ふれあいランド岩手 参加者 計12名]
- (オ) ボランティアの交流・情報交換(市総合福祉センターボランティアルーム開放 406回 5,077名)
- (カ) スタディツアーの開催(令和元年11月30日、参加者計20名、訪問先:大槌町)

## 4) ボランティア保険の加入助成

1,660千円

- (ア) ボランティア活動保険 842件(加入者 13,793名)

保険種別	加入者数	備考
基本A	12,446名	うち11,065名助成。
基本A(大規模特例)	128名	
基本B	199名	
天災A	687名	うち大規模災害特例116名
天災B	333名	

- (イ) ボランティア行事保険 1,050件(加入者37,945名)
- (ウ) 福祉サービス補償 20件
- (エ) 送迎サービス補償 4件

## 5) 活動機材の貸出し

ボランティア活動への支援のため、活動団体に対してフライテント(11件)、審判用紅旗(1件)、飲料用タンク(2件)の機材を貸し出した。

## 6) 福祉除雪

ひとり暮らし高齢者や障がい者等、除雪が困難な世帯等からの要請を受けて、福祉除雪協力団体や個人ボランティアが日常生活に支障がある範囲の雪かき活動を行う。今年度は降雪量が少なく、活動実績は5回であった。また、除雪に関する相談などに随時対応し、情報提供等を行った。

- 登録状況 協力団体7団体、個人ボランティア2名
- 問い合わせ 15件
- 活動回数 5回

## (12) 福祉団体の育成事業

5,149千円

全市的範囲で活動する専門別組織された福祉関係団体(9団体)に対して運営経費の一部を助成することにより、当該団体の育成と活動支援に努めた。

### 1) 盛岡市民生児童委員連絡協議会

民生児童委員活動を通じた在宅福祉援助活動、調査、研修等、関係機関との連絡協調のための諸活動への支援

#### (ア) 主な事業

- ア) 地区会長定例会議(民生児童委員活動について)の開催

- イ) 学習会、交流会、研修会の開催
- ロ) 調査活動（高齢者世帯調査、在宅介護者調査など）の実施
- エ) 民生委員制度 100 周年に係る記念誌「盛岡市民生児童委員連絡協議会のあゆみ」の発行

## 2) 盛岡市子ども会育成会連絡協議会

市内子ども会育成活動への指導や児童福祉の向上のために行う諸活動への支援

- (ア) 主な事業
  - ア) 児童福祉週間行事（歩け歩け運動）の実施
  - イ) 子ども会スポーツ大会の開催
  - ロ) 清掃奉仕活動の実施
  - エ) 盛岡市子ども会議の開催
  - オ) 盛岡市子ども会育成会活動交流研修会の開催

## 3) 盛岡市母子寡婦福祉協会

母子家庭の相談、母子・父子とのレクリエーション、研修会等への支援

- (ア) 主な事業
  - ア) 「親と子の集い クリスマス会」の開催
  - イ) 学習会、研修会の開催

## 4) 盛岡市保育所協議会

園児の保育に関する調査・研究、職員研修、関係機関との連絡協調への支援

- (ア) 主な事業
  - ア) 職員研修の実施
  - イ) 教養講座、子育て講演会の開催
  - ロ) 広報紙の発行

## 5) 盛岡市身体障害者協議会

身体障がい者の福祉向上のために行う諸活動への支援

- (ア) 主な事業
  - ア) 研修会の開催
  - イ) 新年会、敬老会等の親睦交流
  - ロ) 会員とボランティアによるレクリエーション（スポーツ等）の実施

## 6) 盛岡市保健推進員協議会

市民の健康増進活動及び子育て支援活動等健康づくりに関する研修等開催事業

- (ア) 主な事業
  - ア) 健康相談・健康教室開催支援など保健事業の推進
  - イ) 献血事業の推進協力
  - ロ) 研修会等実施

## 7) 盛岡市老人クラブ連合会

市内老人クラブの指導と高齢者福祉向上のために行う諸活動への支援

- (ア) 主な事業
  - ア) 清掃奉仕活動
  - イ) 高齢者相互の友愛（集い）活動、子どもの見守り活動への取り組み
  - ロ) クラブ会員学習会、研修会、交流懇談会の開催
  - エ) 高齢者パソコン同好会への支援

## 8) 盛岡市手をつなぐ育成会

知的障がい者・児が「地域で共にくらす」ための福祉サービスの充実のために行う諸活動への支援

- (ア) 主な事業
  - ア) 成人を祝う会、研修会、茶話会の開催
  - イ) 相談支援事業実施等
  - ロ) 盛岡市特別支援教育研究会参加

9) 盛岡市学童保育連絡協議会

市内の学童クラブ指導員の連携、保育・指導内容の研究、研修等への支援

(7) 主な事業

- ア) 学童のつどい、学童まつりの開催
- イ) 室内ゲーム大会の開催
- ウ) 指導員部会研修会の開催

(13) 赤い羽根共同募金・歳末助けあい運動への協力

赤い羽根共同募金・歳末助けあい運動に協力し、次のとおり災害見舞金及び激励金等の給付や地域福祉コーディネート活動事業では支援生活必需品の支給等を行った。

1) 小規模災害被災者見舞金

住居の火災による被災のあった世帯に対し、次のとおり見舞金を給付した。

災害名	世帯数	金額
住居火災および風水害	30	330,000円

2) 歳末助けあい募金運動寄付金の給付

歳末助けあい運動への寄付金を生活困難世帯に給付及び福祉施設等に交付した。

(7) 在宅生活困難世帯

給付先	件数	金額
重度心身障がい児者世帯	83	913,000円
寝たきり高齢者介護世帯	5	55,000円
認知症高齢者介護世帯	8	88,000円
ひとり暮らし高齢者世帯	121	847,000円
高齢者夫婦世帯	9	63,000円
母子世帯	354	2,478,000円
父子世帯	28	196,000円
母子・父子世帯への図書カード配布	382	958,000円
生活困難世帯	183	1,281,000円
災害被災世帯	13	91,000円
合計	1,186	6,970,000円

(4) 福祉施設・団体

団体数	金額
12	870,000円

3) 生活困窮世帯支援生活用品等支給事業

地域福祉コーディネート活動における生活困窮世帯に対し、カセットコンロ等の生活用品を給付のほか、住居清掃等に要す洗剤やゴミ袋等を購入して支給した。

(14) 地区福祉懇談会の開催

53千円

第2期地域福祉活動計画を推進するため、11地区を会場に懇談会を開催し、地域課題の解決に向けた活動について意見交換を行った。

各地域包括支援センターに配置された生活支援コーディネーターとも連携を図り、緑が丘地区・桜城地区・見前地区においては地域ケア会議と合同で地区福祉懇談会の開催をおこなうと共に、その他の開催地区においても、協力者の掘り起こしと実践活動に向けた話し合いの場を持つなどの活動をおこなった。

また、これまでに開催した地区福祉懇談会の中で、提案された意見やアイデアをもとに、地域住民や関係者と協力・連携を図りながら8地区で活動を行った。

## 1) 福祉懇談会

地区	期日	場所	参加者	テーマ
緑が丘	9月18日	緑が丘老人福祉センター	28名	みんなで考えよう！これからの地域福祉 ～町内会・自治会での助け合いについて考えてみよう～
杜陵	10月16日	杜陵老人福祉センター	59名	杜陵地区の地域課題について考えてみよう
みたけ	10月18日	みたけ地区活動センター	40名	高齢者の冬場の困りごとについて ～住民主体で解決できる方法を一緒に考えてみよう～
米内	10月19日	上米内老人福祉センター	32名	米内地区版 人材バンクによる高齢者の生活支援の仕組みを 考えよう ～買い物支援と移動支援について～
飯岡	10月24日	湯沢地域活性化センター	37名	自分ができる“助け合い”活動をみつけよう
太田	11月8日	太田地区活動センター	78名	太田地区のこれからのことについて～少子高齢化に見る太田地区 のこれからの学び、自分達で出来ることを考えてみよう～
玉山蔵川	11月13日	玉山地区公民館	43名	地域の居場所づくりについて ～担い手の発掘や育成、生きがいづくりの仕組みを考えよう～
つなぎ	11月18日	つなぎ地区活動センター	24名	健康で長寿のまちづくりを目指して ～介護福祉施設や関係機関との連携について～
桜城	11月20日	桜城老人福祉センター	45名	高齢者の生活支援について ～住民による助け合いで解決できることを考えてみよう～
城南	11月25日	山王老人福祉センター	37名	みんなで支え合う城南地区 ～地域福祉の担い手や地域行事への参加者について～
見前	11月27日	見前南地区公民館	40名	高齢者のゴミ出し支援について ～見前地区の取り組みについて学び、意見交換しよう～

## 2) 活動内容

地区名	内容
上田地区	高松団地自治会での空き家を活用した居場所づくり。盛岡市、地域包括支援センター、子ども会、保護者、岩手大学の学生等と連携しながら活動をおこない、自治会単独での夏祭り行事の開催や大学生による児童への夏休み学習支援等の活動を実施。
築川地区	「地域力強化推進事業」のモデル地区として、子育てサロンの立ち上げ支援・遊休地を活用したひきこもり支援活動の場の提供・移動支援に関するアンケート調査等を実施。
仁王地区	地域の社会資源であるお寺や地区活動センターを活用し、夏休みと冬休みの年2回「寺子屋宿題しよう会」「りんご寺子屋宿題しよう会」を開催。現在は、推進協議会の事業として、仁王・高松小学校の児童を対象に、高校生・地域住民・保護者ボランティアによる学習支援と世代間交流の場として定着。
杜陵地区	「地域力強化推進事業」のモデル地区として、マンション住民等との交流を目的とした「マンションサミット」や「杜陵コラボ会」の開催を通し、住民が地域課題を我が事として捉える地域づくりを実施。
みたけ地区	「地域力強化推進事業」のモデル地区として、地域のボランティアによる取り組みである「みたけの地区のボランティア（MMV）」が発足し、地区内で児童を対象とした学習支援等の活動を実施。
山岸地区	「地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業」のモデル地区として、地域住民による遊休地を活用した、生きがい事業として「シニアを楽しく生きるための活動」を実施。次年度は、住民主体による地域内活動サークルとして活動を継続。

地区名	内 容
加賀野地区	「地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業」のモデル地区として、タクシーを活用した高齢者の移動支援について調査研究を実施。
乙部地区	「地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業」のモデル地区として、平成31年2月～令和2年3月27日までの約1年間、住民ボランティアによる「おでかナバス」の試験運行を実施。次年度以降は、これまでの研究成果等を地域おこし協力隊に継承し、地域内における住民主体の運行を継続。

#### 4. 福祉サービスの利用支援

##### (1) 生活支援相談

日常生活上の課題や福祉的就労などの相談に各相談所の相談員が対応した。

##### 1) 心配ごと相談

市民が抱えているさまざまな問題について、心配ごと相談所相談員が広く相談に応じ、その問題解決のための助言を行った。主に、中央相談室（盛岡市総合福祉センター）では精神保健、家族、職業・生業等に関する相談、都南相談室（市役所都南総合支所）では人権・法律に関する相談に応じた。

相談件数は、前年度と比較し人権・法律に関する相談が51.7%増加、年齢別では70-79歳の相談が76.4%増加したが、全体としては2.7%減少した。

(ア) 中央相談室 年間開催日数 236日 開設日及び時間 月曜日～金曜日 10時～16時

(イ) 都南相談室 年間開催日数 11日 開設日及び時間 毎月 第3金曜日 10時～16時

##### ア) 事項別相談件数

相 談 事 項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神保健	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保	教育・青少年	心身障がい者(児)福祉	母子・父子福祉	高齢者福祉	苦情	その他	
中央相談室	13	1	12	6	112	4	4	5	6	245	16	17	3	0	1	23	0	25	18	52	563
都南相談室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	8	0	0	0	0	0	0	0	0	52
合計	13	1	12	6	112	4	4	5	6	245	60	25	3	0	1	23	0	25	17	52	615

※ 相談事項の19「苦情」は、近所のトラブルについて等。

※ 相談事項の20「その他」は、話しを聞いて欲しい、寂しい、お墓や仏事について等。

イ) 事項別相談援助活動件数

事項別	中央相談室	都南相談室	合計	事項別	中央相談室	都南相談室	合計
A. 解決終了	534	45	579	E. 社協による援助実施	0	0	0
B. 相談継続(相談のみの状態で継続する場合)	2	3	5	E-1 相談員・専門援助員	0	0	0
				E-2 福祉活動専門員(又は類いの業務を行う者)	0	0	0
				E-3 ボランティア活動			
				E-4 その他			
C. 他相談機関への引継ぎ(相談そのものの中心窓口を他に移す場合)	0	3	3	F. 他機関・組織への紹介	0	0	0
				F-1 民生児童委員	0	0	0
				F-2 福祉事務所又は市町村担当課	2	0	2
D. 地区社協への引継ぎ				F-3 保健所	3	0	3
D-1 小地域ネットワーク				F-4 福祉施設	2	0	2
D-2 その他地区社協活動	7	0	7	F-5 当事者組織	0	0	0
D-3 その他				F-6 その他の行政機関	7	1	8
				F-7 その他の民間組織	6	0	6
				合計	563	52	615

ウ) 年齢別相談件数(中央相談室)

区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
実相談件数(人)	0	11	133	41	121	91	127	39	563
割合(%)	0%	1.9%	23.6%	7.3%	21.5%	16.2%	22.6%	6.9%	100%

(2) 生活福祉資金等の貸付相談事業

低所得者等を対象とする生活資金(生活福祉資金、助け合い資金)の貸付相談に対応するため、相談員5名を配置し、関係機関と緊密なネットワークを図り、生活の不安定状態の改善に向けた相談等について対応した。

1) 生活福祉資金の貸付相談(岩手県社会福祉協議会委託事業)

21,292千円

他の貸付制度が利用できない低所得世帯、障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、民生委員の協力のもとに、各種の生活福祉資金の貸付相談に当たった。

貸付(不動産担保型生活資金を除く。)は、前年度に比較し貸付件数で31.1%増加、貸付金額で0.92%減少した。

(7) 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援(就労支援、家計指導等)と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯の方々に貸付を行った。

ア) 資金種類別 件数・金額

資金種類	件数	金額	件数比率	金額比率
生活支援費	7件	1,827,000円	58.3%	71.3%
一時生活再建費	2件	344,540円	16.7%	13.4%
住宅入居費	3件	393,000円	25.0%	15.3%
合計	12件	2,564,540円	100.0%	100.0%

(イ) 福祉資金 福祉費

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対して、技能習得、転居、住宅改修、医療費等の貸付を行った。

ア) 件数・金額

資金種類	件数	金額
福祉資金	34件	11,712,000円

(ウ) 福祉資金 緊急小口資金

緊急かつ一時的に世帯の生計維持が困難となった方々に貸付を行った。

ア) 件数・金額

資金種類	件数	金額
緊急小口資金	83件	9,794,000円

(エ) 教育支援資金

高等学校、大学、高等専門学校の入學に際し必要な経費「教育支援費」と「就学支度費」の貸付を行った。

資金種類	件数	貸付金額	件数比率	金額比率
教育支援費・就学支度費(併用)	118件	88,332,000円	83.7%	84.9%
教育支援費	16件	13,281,376円	11.3%	12.8%
就学支度費	7件	2,363,000円	5.0%	2.3%
合計	141件	103,976,376円	100.0%	100.0%

(オ) 不動産担保型 生活資金

高齢者世帯を対象に、現在居住している不動産(土地)を担保に生活資金の貸付を行った。

ア) 令和元年度中の貸付決定件数・金額

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
不動産担保型 生活資金	0件	0円	0円

イ) 令和元年度末貸付状況(累計)

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
不動産担保型 生活資金	5件	100,000～250,000円	6,986,000～17,290,000円

(カ) 要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金

要保護の高齢者世帯を対象に、現在居住している不動産(土地・建物)を担保に生活資金の貸付を行った。

ア) 令和元年度中の貸付決定件数・金額

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金	1件	146,000円	4,445,000円

イ) 令和元年度末貸付状況(累計)

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金	19件	28,116～226,020円	3,668,000～14,070,000円

(キ) 生活復興支援資金

東日本大震災により被災し、失業や休業等により、日常生活全般に困難を抱えている世帯に対する資金であり、令和元年度の実績はなかった。

(ク) 関係機関との連携

くらしとお金の安心合同相談会(年4回:7月、9月、12月、3月 会場:消費者信用生協)

(ケ) 広報活動

福祉らりおか(No.195平成31年5月15日発行)に総合支援資金、No.199(令和2年1月15日発行)に教育支援資金のお知らせを掲載した。

## 2) 助け合い資金の貸付相談

4,414千円

低所得世帯や要保護世帯等に対して、一時的に必要な生活費等の資金として小口貸付（8万円以内）を実施した。  
貸付需要は、前年度に比較し貸付件数は変わらず、貸付金額で7.5%減少した。

### (ア) 貸付金額別 件数

貸付金額	1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～6万円未満	6万円～7万円未満	7万円～8万円未満	8万円	合計
件数(件)	4	14	31	48	15	19	3	2	2	138
比率	2.9%	10.1%	22.5%	34.8%	10.9%	13.8%	2.2%	1.4%	1.4%	100%

### (イ) 月別 件数・金額

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	20	14	8	8	10	12	10	13	13	8	7	15	138
金額(円)	626,000	488,000	208,000	230,000	347,000	360,000	245,000	399,000	540,000	325,000	153,000	471,000	4,392,000
比率	14.5%	10.1%	5.8%	5.8%	7.2%	8.7%	7.2%	9.4%	9.4%	5.8%	5.1%	10.9%	100%

### (ウ) 貸付状況の推移

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
件数(件)	143	126	125	115	147	117	138	138
金額(円)	4,497,000	3,531,000	4,003,000	3,782,000	4,794,000	3,943,000	4,750,000	4,392,000

## (3) 日常生活自立支援事業（岩手県社会福祉協議会委託事業）

24,370千円

### 1) 事業内容

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助やそれに伴う利用料の支払いを含む日常的な金銭管理等の支援を行った。

また、成年後見制度へ円滑な移行を推進するためのコーディネートや関係機関とネットワークの構築を行いました。

### 2) 実施体制（基幹社協）

専門員5名（うち1名が成年後見コーディネーター兼務）、生活支援員18名（うち、盛岡市内を担当する生活支援員数は13名）を配置。

### 3) 援助内容

- (ア) 福祉サービスの利用手続きや情報提供と助言
- (イ) 福祉サービスの利用料の支払いや日常的な金銭管理サービス
- (ウ) 苦情解決制度の利用等援助
- (エ) 書類等の預かりサービス

### 4) 利用料

1時間当たり 1,300円（生活保護世帯を除く一般世帯）

### 5) 新規契約状況

- (ア) 新規契約者数 27名
- (イ) 解約者数 18名

ア) 性別・世帯状況

区 分	男性	女性	合 計	一般世帯	生保世帯	合 計
新規契約利用者数 (人)	11	16	27	9	18	27

イ) 種別状況

( ) 内は盛岡市

区 分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
男 性 (人)	4(3)	1(1)	6(6)	0(0)	11(10)
女 性 (人)	9(8)	4(3)	2(2)	1(1)	16(14)
合 計	13(11)	5(4)	8(8)	1(1)	27(24)

ウ) 支援先の状況

区 分	件 数	区 分	件 数
自宅	11	一般病院	0
デイケア	1	精神病院	2
グループホーム	2	デイサービス	1
社協	0	障がい福祉サービス事業所	0
老人福祉施設	1	作業所	3
有料老人ホーム、老人保健施設	6	合 計	27

エ) 契約者の申込相談経路

区 分	件 数	区 分	件 数
本人	1	障がい者地域生活支援センター	0
配偶者	1	定着支援センター	0
指定居宅介護支援事業所 (M)	7	行政機関	3
地域包括支援センター	3	医療機関	5
金融機関	0	社会福祉協議会	2
後見人	0	NPO 法人	1
相談支援事業所(相談支援専門員)	4	合 計	27

6) 利用状況

(ア) 実利用者累計 193名 (延べ契約者645名・解約592名)

ア) 性別・世帯状況

区 分	男性	女性	合 計	一般世帯	生保世帯	合 計
元年度末実利用者数(人)	97	96	193	79	114	193

イ) 障がい別状況

( ) 内は盛岡市

区 分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
男 性 (人)	28(20)	13(10)	54(52)	2(2)	97(84)
女 性 (人)	37(32)	19(16)	37(32)	3(3)	96(83)
合 計	65(52)	32(26)	91(84)	5(5)	193(167)

ウ) 市町別実利用者状況

市町名	新規契約 実利用者数 (人)	現在実利用 者数 (人)	事業開始以来の延べ 契約締結者数 (人)
盛岡市	24	167	555
紫波町	2	18	54
矢巾町	1	8	36
合 計	27	193	645

エ) 支援内容 (払出し方法)

区分	代行	代理	同行	合計
一般世帯 (人)	34	45	0	79
生保世帯 (人)	53	61	0	114
合計	87	106	0	193

カ) 毎月の支援回数

区分	月1回	月2回	月3回	月4回	隔月	合計
一般世帯 (人)	55	20	0	4	0	79
生保世帯 (人)	57	40	0	17	0	114
合計	112	60	0	21	0	193

7) 成年後見地域ネットワーク等支援事業

- ア) 成年後見制度の普及啓発
- イ) 地域ネットワークの設置推進
- ウ) 日常生活自立支援事業から成年後見制度への円滑な移行の促進

エ) 相談件数

区分	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	合計
件数	105	52	30	4	191

イ) 本事業からの移行者

区分	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
後見(人)	1	0	0	0	1
保佐(人)	1	1	0	0	2
補助(人)	0	0	0	0	0
合計	2	1	0	0	3

## 5. 在宅福祉サービスの推進

(1) 介護保険サービス

1) 指定居宅介護支援事業

41,991 千円

盛岡駅西口指定居宅介護支援事業所は特定事業所加算(Ⅱ)、月が丘指定居宅介護支援事業所は特定事業所加算(Ⅲ)の算定要件をそれぞれ満たし、介護支援専門員(ケアマネジャー)が要介護者等からの相談に応じるとともに、医療機関や介護サービス事業所などと連絡・調整を行いながら心身の状況等に適した介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、適切かつ良質なケアマネジメントの提供に努めた。両事業所を合わせた介護サービス計画の作成件数は、前年度と比較して 2.3%増加した。

ア) 盛岡駅西口指定居宅介護支援事業所

- ア) 所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号
- イ) 電話番号 019-653-3012
- ウ) 職員配置 所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、主任介護支援専門員2名、介護支援専門員2名
- エ) 営業日及び時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

カ) 事業実績

① 稼働営業日数 242日

② 介護度別利用契約者

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性(人)	15	13	6	5	0	39
女性(人)	37	46	18	5	7	113
合計	52	59	24	10	7	152

③ 世帯分類別利用契約者

区分	契約者数
一般世帯	55
高齢者世帯	35
独居世帯	62

④ 介護サービス計画(ケアプラン)作成件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
介護サービス計画 作成件数 (件)	158	168	157	163	156	155	154	158	157	152	156	155	1,889	
要 介 護 状 態 (件)	要介護1	73	73	70	73	65	65	61	59	54	55	51	53	752
	要介護2	43	44	45	50	50	52	56	61	63	62	62	60	648
	要介護3	29	35	29	25	24	23	22	23	24	22	25	24	305
	要介護4	7	9	6	8	9	8	9	8	10	8	10	11	103
	要介護5	6	7	7	7	8	7	6	7	6	5	8	7	81
営業日数(日)	20	19	20	23	21	19	21	20	20	19	19	21	242	

⑤ 要介護認定調査依頼件数

(内訳：盛岡市110件 一関市4件 山田町4件 五戸町1件 花巻市1件 上野原市1件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護認定調査件数(件)	13	5	8	13	7	15	7	11	6	16	12	8	121

⑥ 介護予防サービス計画作成及び介護予防ケアマネジメント受託件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
計画作成件数(件)	29	29	30	30	31	32	31	31	31	29	32	29	364	
委 託 元	駅西口	19	20	21	21	22	23	22	23	23	21	22	21	258
	みたけ・北厨川	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	青山	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	10
	仁王・上田	8	7	7	7	7	7	7	7	7	6	8	6	84

※ 委託元 駅西口：盛岡駅西口地域包括支援センター      みたけ・北厨川：みたけ・北厨川地域包括支援センター  
 青山：青山和敬荘地域包括支援センター      仁王・上田：仁王・上田地域包括支援センター

(イ) 月が丘指定居宅介護支援事業所

- ア) 所在地                      盛岡市月が丘三丁目7番5号
- イ) 電話番号                    019-601-7399
- ウ) 職員配置                    所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、介護支援専門員4名
- エ) 営業日及び時間            月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
- オ) 事業実績

① 稼働営業日数 242日

② 介護度利用契約者

区 分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男性(人)	13	13	6	3	3	38
女性(人)	47	25	11	7	4	94
合 計	60	38	17	10	7	132

③ 世帯分類別利用契約者

区分	人数
一般世帯	50
高齢者世帯	45
独居世帯	37

④ 介護サービス計画（ケアプラン）作成件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
介護サービス計画 作成件数(件)	127	126	132	126	129	130	137	134	134	135	130	132	1,572	
要 介 護 状 態 (件)	要介護1	54	54	57	57	62	66	68	71	67	65	62	60	743
	要介護2	38	39	41	39	39	37	40	37	37	39	38	38	462
	要介護3	18	17	19	17	14	15	15	14	15	15	15	17	191
	要介護4	11	10	10	8	8	8	8	7	9	10	9	10	108
	要介護5	6	6	5	5	6	4	6	5	6	6	6	7	68
営業日数(日)	20	19	20	23	21	19	21	20	20	19	19	21	242	

⑤ 要介護認定調査依頼件数（内訳：盛岡市156件、一関市1件、鹿角市2件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護認定調査件数	13	11	14	17	10	16	14	11	17	15	12	9	159

⑥ 介護予防サービス計画作成及び介護予防ケアマネジメント受託件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数(件)	21	22	20	16	16	19	17	20	22	22	22	22	239
委 託 元	駅西口	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	みたけ・北厨川	3	4	4	3	3	3	2	3	4	4	4	41
	青山	14	14	13	11	11	14	13	14	15	15	15	164
委 託 元	仁王・上田	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	イーハトーブ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5

※ 委託元 駅西口：盛岡駅西口地域包括支援センター      みたけ・北厨川：みたけ・北厨川地域包括支援センター  
 青山：青山和歌荘地域包括支援センター      仁王・上田：仁王・上田地域包括支援センター  
 イーハトーブ：イーハトーブ地域包括支援センター

2) 訪問介護・訪問型サービス（第1号訪問事業）

77,982千円

要介護者の状況を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護  
 その他生活全般にわたる援助を行った。また、介護予防・日常生活支援総合事業として要支援者等には訪問型サービス（第  
 1号訪問事業）を併せて実施し、要介護状態となることを予防し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般に  
 わたる支援を行い、生活機能の維持及び向上を目指した。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、前年度に比較して0.4%増加した。

(ア) 盛岡駅西口ヘルパーステーション

- ア) 所在地                      盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号
- イ) 職員配置                所長1名、総括主任ヘルパー1名、主任1名、副主任3名、訪問介護員19名
- ウ) 営業日及び時間        月曜日～土曜日 8時30分～17時15分
- エ) 営業時間外対応        電話等により24時間常時連絡可能

わ) 主なサービス 身体介護、家事援助、日常生活上の支援（要支援者等への介護予防サービス）

か) 訪問介護・訪問型サービス（第1号訪問事業）事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人員(人)	167	170	173	172	173	172	174	173	169	167	167	174	
利用延べ人員(人)	1,443	1,540	1,485	1,579	1,422	1,396	1,495	1,377	1,304	1,302	1,310	1,487	17,140

(イ) 月が丘ヘルパーステーション

ア) 所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号

イ) 職員配置 所長1名、主任1名、副主任2名、訪問介護員16名

ウ) 営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分

エ) 営業時間外対応 電話等により24時間常時連絡可能

オ) 主なサービス 身体介護、家事援助、日常生活上の支援（要支援者等への介護予防サービス）

カ) 訪問介護・訪問型サービス（第1号訪問事業）事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人員(人)	110	108	111	111	112	113	114	114	110	104	104	108	
利用延べ人員(人)	685	709	695	807	726	717	788	765	767	700	728	799	8,886

(ウ) 保険外自費サービス

訪問介護事業の利用者が自立した日常生活を継続的に営むための支援として、介護保険法による事業の対象とならないサービス（病院内介助、雪かき、片づけ等）を実施した。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、前年度に比較して71%増加した。

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
盛岡 駅 西 口	利用実人員(人)	2	1	1	2	1	1	2	2	1	3	2	2	
	利用延べ人員(人)	3	2	3	3	2	2	4	4	1	3	3	3	33
月 が 丘	利用実人員(人)	2	1	2	2	2	2	1	1	2	0	5	4	
	利用延べ人員(人)	2	3	3	5	5	2	1	1	2	0	5	5	34

### 3) 通所介護・通所型サービス（第1号通所事業）

88,754千円

盛岡駅西口老人デイサービスセンターは、桜城地域及び東厨川地域・西厨川の一部を主なエリアとし、また、月が丘老人デイサービスセンターは、青山地域及びみたけ北厨川地域における在宅福祉活動の拠点として、在宅の要介護高齢者に対して通所による介護サービスを提供し、心身機能の維持向上、自立生活の助長を図りながら、その家族の身体的、精神的な負担軽減を図った。

また、介護予防・日常生活支援総合事業として通所型サービス（第1号通所事業）を併せて実施し、要介護状態や寝たきりにならないよう、また生活機能の維持向上のための介護予防サービスの提供を行った。

なお、虚弱高齢者の閉じこもりの予防と生きがいの活動支援を目的とした盛岡市の受託事業「盛岡市生きがい活動支援通所事業」、養護老人ホーム清和荘（社会福祉法人小原慶福会）より受託している特定施設入所者生活介護の通所介護事業については実績なし。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、前年度に比較して13.8%増加した。

(ア) 盛岡駅西口老人デイサービスセンター

ア) 所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号

イ) 職員配置 所長1名（生活相談員兼務）、生活相談員1名、看護職員1名、介護職員10名、運転手4名

ウ) 営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分（サービス提供9時30分～15時50分）

エ) 主なサービス 健康チェック、入浴サービス、給食サービス、送迎サービス、生活指導助言、日常生活動作訓練

㌠) 通所介護・通所型サービス（第1号通所事業）事業実績

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
営業日数（日）		26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309
利用実人員（人）		51	52	53	54	55	55	57	59	60	59	60	53	
利用延べ人員(人)		467	499	454	510	525	507	536	534	483	468	490	454	5,927
実 績	通所	467	499	454	510	525	507	536	534	483	468	490	454	5,927
	入浴	443	470	432	480	478	451	474	472	415	396	421	387	5,319
	給食	467	499	454	510	525	507	536	534	483	468	490	454	5,927
介護状態別延人員(人)	事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援1	40	52	47	51	48	48	58	44	48	49	55	58	598
	要支援2	60	67	42	49	57	43	40	48	43	41	41	36	567
	要介護1	140	142	138	133	134	127	159	153	124	136	142	127	1,655
	要介護2	135	150	132	176	195	192	204	206	194	172	162	130	2,048
	要介護3	44	45	43	48	39	38	36	46	41	32	48	59	519
	要介護4	39	35	23	24	25	30	31	28	25	31	33	35	359
要介護5	9	8	29	29	27	29	8	9	8	7	9	9	181	

㌡) 特定施設入所者生活介護通所介護事業（清和荘委託事業） 実績なし

㌢) 生きがい活動支援通所事業 実績なし

(イ) 月が丘老人デイサービスセンター

㌠) 所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号

㌡) 職員配置 所長1名(生活相談員兼務)、生活相談員1名、看護職員1名、介護職員12名、運転手3名

㌢) 営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分（サービス提供 9時30分～15時50分）

㌣) 主なサービス 健康チェック、入浴サービス、給食サービス、送迎サービス、生活指導助言、日常生活動作訓練

㌤) 通所介護・通所型サービス（第1号通所事業）事業実績

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
営業日数（日）		26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309
利用実人員（人）		68	74	74	75	73	73	71	72	72	68	68	71	
利用延べ人員(人)		550	610	595	634	590	554	568	604	527	517	530	563	6,842
実 績	通所	550	610	595	634	590	554	568	604	527	517	530	563	6,842
	入浴	483	505	488	541	502	474	484	538	464	443	455	495	5,872
	給食	548	609	595	634	590	554	552	604	523	515	530	560	6,814
介護状態別延人員(人)	事業対象者	6	16	11	13	8	8	10	7	6	6	7	6	104
	要支援1	24	29	29	34	30	22	22	31	31	30	39	38	359
	要支援2	48	42	35	52	56	52	60	63	49	49	44	48	598
	要介護1	217	240	249	244	237	234	256	281	258	253	229	255	2,953
	要介護2	176	171	176	207	193	187	181	189	162	160	191	171	2,164
	要介護3	23	42	36	33	34	27	23	22	8	8	8	13	277
	要介護4	31	43	31	23	15	16	13	11	13	11	12	32	251
要介護5	25	27	28	28	17	8	3	0	0	0	0	0	136	

㌦) 生きがい活動支援通所事業 実績なし

#### 4) 利用者負担軽減実施（地域における公益的な取組）

低所得のうち特に生活が困窮している介護保険サービス利用者への社会的支援のため、法人として盛岡市が行う利用者負担額軽減制度を実施した。制度の周知及び申請手続きの援助を行い、対象となった利用者に対して介護費負担の25%を軽減した。前年度に比較して、対象延べ人員数は31%、軽減負担額は61.4%それぞれ増加した。

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	対象延べ人員(人)	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	21
	軽減実施額(円)	2,778	2,697	2,861	2,182	655	818	658	2,382	2,191	2,191	2,382	2,355	24,150
訪問介護	対象延べ人員(人)	3	3	3	3	0	1	1	1	1	1	0	0	17
	軽減実施額(円)	1,541	3,793	3,346	3,166	0	594	596	596	689	689	0	0	15,010

#### (2) 地域包括支援センター事業（盛岡市委託事業）

67,387千円

盛岡市から盛岡駅西口地域包括支援センター及びみたけ・北厨川地域包括支援センター事業を受託し、介護予防から介護保険の介護サービスのみならず、地域の保健・福祉・医療サービスなど高齢者の状況の変化に応じた支援を提供する総合的な相談支援の拠点として高齢者とその家族の福祉向上を図った。

また、盛岡市が行う介護予防・日常生活支援総合事業の対象者へ介護予防ケアマネジメントを併せて実施した。事業の内容は次のとおり

##### (ア) 総合相談支援事業

できるかぎり地域の中で自立した日常生活が継続できるよう、高齢者やその家族などからの様々な相談に応じ、その支援対応に当たった。

##### (イ) 介護予防支援事業

要支援1・2と判定された高齢者等に対して、要介護状態へ移行することを防止するための介護予防サービス計画の作成を行った。

##### (ロ) 介護予防ケアマネジメント実施

高齢者の介護予防と自立支援の視点を踏まえ、心身の状況、その置かれている環境等の状況に応じて、本人の意欲や能力を引き出せるように専門的視点から支援した。

また、基本チェックリストによる事業対象者に対しては、介護予防サービス計画の作成を行った。

##### (ハ) 権利擁護事業

高齢者が地域で安心して生活できるよう、成年後見制度の紹介や虐待の早期発見、消費者被害等に関する相談に対応した。

##### (ニ) 包括的・継続的支援事業

介護に携わるケアマネジャーや医療・関係機関との連携を図り、地域資源のネットワークづくりに取り組んだ。

##### (ホ) 生活支援体制整備事業（第2層）

社会資源リストの作成、関係機関とのネットワークづくりおよび地域への事業周知を行い、生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に取り組んだ。併せて、認知症地域推進業務として、認知症高齢者やその家族からの相談対応を行った。

#### 1) 盛岡駅西口地域包括支援センター

盛岡駅西口地域包括支援センターは、日常生活圏域の高齢者人口の変化に伴い、事業委託元である盛岡市の担当圏域の見直しにより、平成31年4月からこれまでのエリアが分割され、桜城・西厨川地区を担当圏域として総合的な相談支援等を行った。前年度に比較して、実相談者数は16%減少、問い合わせ件数は12%増加したが、介護予防サービス計画作成及びケアマネジメント実施件数は50%減少した。

(ア) 所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号

(イ) 電話番号 019-606-3361

(ロ) 職員配置 所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、保健師2名、社会福祉士1名、介護予防支援員1名  
第2層生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員1名

(ハ) 担当圏域 桜城・西厨川地区

(ニ) 相談方法 電話、来所、希望により自宅を訪問し相談に対応

(ホ) 営業日時 月曜日から土曜日 平日：午前9時から午後7時 土曜日：午前9時から正午

※休館日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始 営業時間外対応：電話により24時間常時連絡可能

(キ) 利用料 無料

(ク) 事業実績

ア) 実相談者数 568名 (うち訪問実数 223名)

イ) 相談方法別件数

電話	訪問	来所	文書	その他	合計
1,185	539	285	3	39	2,051

ウ) 相談者(経路)別件数

家族	本人	関係機関	民生委員	介護支援 専門員	介護サービス 事業所	行政関係	近隣 知人等	合計
489	662	322	61	323	18	66	110	2,051

エ) 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	480	苦情に関すること	14
医療に関する相談	60	年金・保険に関する相談	15
介護保険に関する相談	615	財産(土地・住宅等)に関する相談	33
高齢者福祉サービスに関する相談	84	虐待・権利擁護に関する相談	152
健康づくりと保健事業に関する相談	4	成年後見制度に関する相談	45
施設入所に関する相談	223	消費者被害に関する相談	3
福祉用具に関する相談	19	困難事例に関する相談	408
住宅改修に関する相談	13	その他の相談	217
諸制度に関する相談	50		
状況把握(実態把握)	315	合計	2,750

カ) 月別相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	84	83	90	89	105	96	97	98	127	113	112	91	1,185
訪問	44	37	43	37	35	29	51	51	60	43	54	55	539
来所	18	20	30	30	19	28	32	24	30	17	22	15	285
文書	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
その他	7	1	5	4	3	3	3	2	5	1	3	2	39
合計	153	141	168	160	162	158	183	176	222	174	191	163	2,051

カ) 申請代行件数

代行サービス名	件数	代行サービス名	件数
生活支援型ヘルパー	0	緊急通報サービス	2
生きかみ対応型ダイサービス	1	配食サービス	11
生活支援型ショート	0	日常生活用具	0
住宅改修助成	0	介護保険	91
施設入所	1	諸制度・諸手当	3
医療に関するサービス	0	その他	1
保健に関するサービス	0	合計	110

キ) 相談外活動回数

活動内容	回数
会議	179
研修	26
視察研修等・実習指導	16
ケース検討会	15
広報啓発活動	30
その他	18
合計	284

ク) 介護予防サービス計画作成件数

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防サービス計画作成件数 (件)		120	116	125	123	131	135	131	135	132	125	130	128	1,531
内 訳	自機関	37	35	42	40	44	47	44	46	44	42	41	42	504
	委託	83	81	83	83	87	88	87	89	88	83	89	86	1,027

ケ) 介護予防ケアマネジメント実施件数

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアマネジメント実施件数(件)		89	87	85	84	84	89	87	88	88	85	84	88	1,038
内 訳	自機関	30	28	29	31	35	37	33	34	34	34	36	37	398
	委託	59	59	56	53	49	52	54	54	54	51	48	51	640

2) みたけ・北厨川地域包括支援センター

みたけ・北厨川地域包括支援センターは、みたけ・北厨川地区を担当圏域に総合的な相談支援等を行った。前年度に比較して、実相談者数は34.7%増加、問い合わせ件数は10.5%増加し、介護予防サービス計画作成及びケアマネジメント実施件数は20.3%増加した。

(ア) 所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号

(イ) 電話番号 019-648-8834

(ウ) 職員配置 所長1名、管理者(社会福祉士)1名、主任介護支援専門員1人、保健師1名、介護予防支援員1名、第2層生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員1名

(エ) 担当圏域 みたけ・北厨川地区

(オ) 相談方法 電話、来所、希望により自宅を訪問し相談に対応

(カ) 営業日時 月曜日から土曜日 平日：午前9時から午後7時 土曜日：午前9時から正午

※休館日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始 営業時間外対応：電話により24時間常時連絡可能

(キ) 利用料 無料

(ク) 事業実績

センターの窓口のほか、担当圏域内に3箇所の出張相談所を開設し、より身近な窓口として介護、生活に関わる相談に対応した。

出張相談室	会場及び開催日	相談件数等
みたけサテライト相談室	みたけ老人福祉センター (みたけ3丁目13-23) 第4木曜日 9:00~12:00	12回開催 3件
谷地頭サテライト相談室	谷地頭集会所 (厨川5丁目14) 第4木曜日 13:00~16:30	12回開催 27件
厨川2丁目サテライト相談室	北厨川住宅集会所 (厨川2丁目21-28) 第3木曜日 13:30~16:30	12回開催 12件

ア) 実相談者数 396名 (うち訪問実数 212名)

イ) 相談方法別件数

電話	訪問	来所	文書	その他	合計
758	512	156	6	18	1,450

ウ) 相談者(経路)別件数

家族	本人	関係機関	民生委員	介護支援専門員	介護サービス事業所	行政関係	近隣知人等	合計
290	489	196	138	170	9	113	45	1,450

エ) 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	505	苦情に関すること	11
医療に関する相談	92	年金・保険に関する相談	47
介護保険に関する相談	594	財産(土地・住宅等)に関する相談	59
高齢者福祉サービスに関する相談	100	虐待・権利擁護に関する相談	92
健康づくりと保健事業に関する相談	2	成年後見制度に関する相談	134
施設入所に関する相談	138	消費者被害に関する相談	3
福祉用具に関する相談	45	困難事例に関する相談	456
住宅改修に関する相談	13	その他の相談	90
諸制度に関する相談	41		
状況把握(実態把握)	527	合 計	2,949

ウ) 月別相談件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電 話	62	49	77	68	50	53	73	63	58	55	72	78	758
訪 問	39	37	41	51	36	32	55	44	35	25	28	89	512
来 所	17	16	24	8	13	6	13	8	10	13	20	8	156
文 書	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	2	0	6
その他	1	0	0	6	0	1	2	1	2	2	1	2	18
合 計	119	102	142	133	100	94	143	117	105	95	123	177	1,450

カ) 申請代行件数

代行サービス名	件数	代行サービス名	件数
生活支援型ヘルパー	0	緊急通報サービス	1
生きがい・定住型デイサービス	0	配食サービス	4
生活支援型ショート	0	日常生活用具	0
住宅改修助成	0	介護保険	68
施設入所	0	諸制度・諸手当	2
医療に関するサービス	0	その他	4
保健に関するサービス	0	合 計	79

キ) 相談外活動回数

活 動 内 容	回 数
会議	207
研修	71
視察研修等・実習指導	13
ケース検討会	25
広報啓発活動	47
その他	106
合 計	469

ク) 介護予防サービス計画作成件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防サービス計画 作成件数 (件)	47	51	51	51	51	53	53	50	50	52	53	56	618
内 訳	自機関	17	18	21	20	19	20	19	20	17	20	21	232
	委 託	30	33	30	31	32	33	34	30	32	33	35	386

カ) 介護予防ケアマネジメント実施件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
ケアマネジメント 実施件数(件)	44	43	43	47	46	43	41	43	45	45	44	43	527	
内 訳	自機関	20	23	22	26	26	24	25	26	28	26	27	27	300
	委 託	24	20	21	21	20	19	16	17	17	19	17	16	227

(3) 障がい福祉サービス事業

1) 居宅介護（ホームヘルプ）

1,437 千円

障害者総合支援法の障がい者自立支援給付である「居宅介護（ホームヘルプ）」の提供事業所として、障がい者が居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ、食事等の介護サービスや調理、洗濯、掃除等の家事サービスを提供するとともに、生活等に関する相談、助言その他の生活全般にわたる援助を行った。両事業所を合わせた利用延べ人員は、前年度に比較して26.9%増加した。

(ア) 盛岡駅西口指定居宅介護事業所（盛岡駅西口ヘルパーステーション併設）

(イ) 月が丘指定居宅介護事業所（月が丘ヘルパーステーション併設）

事業実績

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
盛 岡 駅 西 口	利用実人員(人)	7	6	7	7	6	7	6	6	6	6	8	5	
	利用延べ人員(人)	94	62	61	68	63	59	68	59	61	59	56	55	765
月 が 丘	利用実人員(人)	6	6	7	7	7	6	6	6	6	6	6	7	
	利用延べ人員(人)	55	62	67	72	68	61	55	63	64	54	51	71	743

(4) 地域生活支援

1) 日常生活用具の貸与事業

101 千円

在宅で生活する寝たきり高齢者、身体障がい者、歩行困難者で介護保険サービスを利用できない方に対して、無料で車いす、特殊寝台等の貸し出しを行った。延べ貸与件数は、前年度に比較して8.7%減少した。

(ア) 貸与状況

(保有台数：令和2年3月31日現在)

種 類	保有台数	延べ貸与件数	主な申請事由
特殊寝台	35	19	自宅療養、一時帰宅等
マット(エアマット含む)	34	17	自宅療養、一時帰宅等
車いす	111	192	自宅療養、通院、外出、一時帰宅、研修等
電動車いす	4	0	
歩行器	1	4	自宅療養等
合 計	185	232	

2) 寝たきり高齢者等紙おむつ支給（盛岡市委託事業）

12,439 千円

市民税非課税の在宅の寝たきり高齢者等の世帯に対して紙おむつを支給することにより、介護者の負担軽減及び当該高齢者の福祉増進を図った。

延べ対象者数は、前年度に比較して7.7%増加した。

実施状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
対象者数(人)	567	579	580	593	594	599	590	572	568	573	572	585	6,972	
支給枚数(枚)	29,660	30,685	29,965	31,970	31,485	31,990	31,910	32,300	31,405	31,385	29,865	30,910	373,530	
内 訳	尿取りパッド	16,135	17,140	16,830	17,640	17,940	18,165	18,000	19,260	18,675	18,600	16,815	17,595	212,795
	フラット型	1,845	1,725	1,635	2,310	1,665	1,845	2,310	2,100	1,710	1,545	1,470	1,515	21,675
	テープ止めM	2,340	2,420	2,340	2,260	2,440	2,440	2,300	2,140	2,260	2,280	2,400	2,440	28,060
	テープ止めL	820	820	460	720	760	720	700	700	740	680	860	840	8,820
	はくタイプM	4,600	4,580	4,580	4,780	4,460	4,580	4,500	4,280	4,160	4,300	4,460	4,620	53,900
	はくタイプL	3,920	4,000	4,120	4,260	4,220	4,240	4,100	3,820	3,860	3,980	3,860	3,900	48,280

3) 高齢者世話付住宅援助員の派遣事業(盛岡市委託事業)

1,758千円

ひとり暮らし高齢者等の生活特性に配慮した住宅(高齢者世話付住宅)に生活援助員(ライフサポートアドバイザー)を派遣し、高齢者が自立して安全に快適な生活を営むことができるよう生活の指導、相談等を行うとともに、24時間体制で緊急時や安否の確認などの援助サービスを提供した。

- (ア) 生活援助員派遣施設 盛岡市宮月が丘アパート(盛岡市月が丘三丁目8番) 27世帯  
1号館(4世帯)、2号館(7世帯)、3号館(8世帯)、4号館(8世帯)
- (イ) 支援内容 緊急時の対応、安否の確認、生活の指導及び相談、関係機関等の連絡
- (ウ) 事業内容

内容	生活指導 相談	安否確認	緊急時 対応	間違い 押し	関係機関 との連絡	原因不明 発報	その他	合計
延べ件数	27	1,259	25	2	13	3	3	1,332
上記件数のうち 夜間・休日対応件数	0	0	19	1	0	1	0	21

4) いきいき高齢者通所支援事業(玉山)(盛岡市委託事業)

1,457千円

比較的元気で家に閉じこもりがちな高齢者に対して、サテライト型通所の方法で、スポーツや趣味のサービスを提供することにより、高齢者の生きがいづくり、自立的生活の助長、社会的孤立感の解消等により身体機能の維持向上を図り、併せて、その家族の身体的精神的負担の軽減に努めた。延べ利用者数は、前年度に比較して16.6%減少した。

実施状況

(登録者:令和2年3月31日現在)

曜日	場所	登録者数(人)	年間延べ利用者数(人)
月曜日	舟田介護予防センター	16	507
月曜日	姫神地区振興センター	7	242
火曜日	日戸地区コミュニティセンター	12	408
火曜日	生出3地区コミュニティセンター	9	265
水曜日	城内地区コミュニティセンター	10	307
木曜日	玉山総合福祉センター	13	478
金曜日	巻堀地区コミュニティセンター	9	205
第1・第3水曜日(藪川地区)	岩洞活性化センター	10	163
第1・第3木曜日(外山地区)	岩洞活性化センター	10	133
合計		96	2,708

※ 利用料:1回当たり100円の負担(おやつ代に充当)

5) 家族介護者のリフレッシュ事業 (盛岡市委託事業)

528 千円

家庭で寝たきりの高齢者、身体に重度の障がいがある要介護者の介護に当たっている介護者(家族)を対象に、在宅福祉サービスや介護技術の知識を高めるとともに、日頃の悩みや体験について情報交換をするなど、介護者の心身のリフレッシュに努めた。

第1回 期 日 令和元年9月4日

開催場所 プラザおでって(盛岡市中ノ橋通1-1-10)

参加者数 19名

内 容 ・講演 「介護はひとりぼっちじゃなかった」  
 講師 加藤 浩 氏 (元テレビ岩手アナウンサー)  
 ・参加者同士の交流会

第2回 期 日 令和元年11月28日～29日

開催場所 ホテル紫苑(繁字湯の館74-2)

参加者数 18名

内 容 ・講演 「よりよい介護サービスの選び方」  
 講師 盛岡地区地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 山内 二三男 氏  
 ・体験 「最新の介護用品体験」  
 講師 株式会社ケア・テック  
 ・コンディショニング体験  
 講師 YUI FITNESS COMMUNITY 代表 中田 幸恵 氏  
 ・参加者同士の交流会  
 ・夕食兼交流会

(5) 外出支援

1) おでかけ送迎サービス事業

3,450 千円

一般の交通手段での外出が困難な方の通院、リハビリ、社会参加等のための移動手段として、送迎ボランティアの協力により、車いすやストレッチャーで乗降可能な車両を運行した。前年度に比較して、実利用者数は9.2%増加、延べ利用者数は1%増加した。

- (ア) 実利用者数 83名
- (イ) 利用延べ件数 688件
- (ウ) 送迎ボランティア実稼働数 13名(若園:9名 玉山:4名)
- (エ) 使用車両 ・リフト付き福祉車両2台、スロープ付き軽福祉車両1台(市総合福祉センター配備)  
 ・リフト付き福祉車両1台(玉山総合福祉センター配備)
- (オ) 利用料 無料
- (カ) 利用状況

区 分	性 別			利用区分		年 齢 別							使用機器別				
	男性	女性	計	障がい者	要介護者	20歳未満	20歳以上	40歳未満	40歳以上	60歳未満	60歳以上	70歳未満	70歳以上	80歳以上	社協車いす	本人車いす	ストレッチャー
実利用者数(人)	41	42	83	57	26	2	9	17	8	20	27	25	56	1	1		
延べ利用者数(人)	396	292	688	525	163	21	96	132	79	189	171	206	466	1	15		

※その他:シルバーカー

2) 「ぷらっと<sup>きゃぶ</sup>cab」の貸出し(車いす同乗福祉自動車貸出事業)

259 千円

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者の方が通院、買物、冠婚葬祭、行楽等の外出をする際の支援を行うため、車いす同乗福祉自動車を無料で貸し出しをした。前年度比較で、実利用者は16.7%増加し、延べ利用者は9.3%の増加となった。

- (ア) 利用実人員 14名 (男性3名・女性11名)
- (イ) 利用延べ件数 59件 (男性15件・女性44件)
- (ウ) 平均運行距離 57.2km (1利用当たりの平均走行距離)
- (エ) 利用料 無料 (但しガソリン、その他私的経費は自己負担)
- (オ) 実利用者

性別			年齢別						障がい等別		
男性	女性	合計	20歳未満	20～40歳	40～60歳	60～70歳	70～80歳	80歳以上	要介護者	障がい者	外科患者等
3	11	14	0	0	0	4	3	7	13	0	1

(カ) 利用状況

性別			行先別						利用内容別					
男性	女性	合計	市内	矢巾町	雫石町	滝沢市	その他 県内	県外	通院	退院	入所	一時帰宅	行楽	その他
15	44	59	40	16	1	1	1	0	46	0	0	2	2	9

※ 利用内容別「その他」：市内散策、買物、墓参、知人・親戚宅の訪問等

(6) 福祉人材の育成

10千円

ヘルパー業務の不安解消と意欲向上のため、盛岡市内・近郊のヘルパー従事者・未経験者対象に実技を取り入れた講話、参加者同士が交流できるサロンを開催。6月から11月に計4回開催し、延べ70名の参加となった。

6. 東日本大震災復興支援

復興を支援する民間団体で組織された「もりおか復興支援ネットワーク」において団体相互の連携を図った。

7. 災害対応・支援活動

(1) 事業継続計画（BCP）の見直し

災害など緊急時における中核事業の継続及び事業全体を復旧させるために、平常時や緊急時における対策などを定めた事業継続計画について見直しを行った。

(2) 災害時受援計画の策定

大規模災害発生時における業務への人的及び物的支援の受け入れにより、早期の住民生活復旧を目的に新たに災害時受援計画を策定した。

(3) 災害被災地支援

令和元年10月に県内で発生した台風19号災害に伴う、職員派遣要請を岩手県社会福祉協議会から受け、県央地区社協連絡協議会事務局として県央地区管内社協の職員派遣調整を行うとともに、盛岡市社協からは下記のとおり職員を派遣した。

派遣先 普代村社会福祉協議会災害ボランティアセンター

期間 令和元年10月28日から11月15日まで（うち16日間）

人数 4名

## 8. 福祉活動情報の発信

### (1) 社会福祉大会の開催

1,322 千円

社会福祉功労者の表彰と市民の福祉活動への理解と参加を促進するため、盛岡市と共催で開催した。

- 1) 名称 第58回盛岡市社会福祉大会
- 2) 日時 令和元年11月21日 午後1時～午後4時
- 3) 会場 盛岡市民文化ホール大ホール（盛岡市盛岡駅西通2-9-1）
- 4) 参加者 福祉関係者・施設・団体・市民等 約800人
- 5) 内容
  - (ア) 社会福祉関係物故者並びに東日本大震災で亡くなられた方々に対する黙祷
  - (イ) 表彰
 

盛岡市長感謝状（民生児童委員・主任児童委員 11年以上）	49名
社会福祉協議会会長表彰（民生児童委員・主任児童委員 15年以上）	1名
〃（社会福祉法人、社会福祉施設等の役職員）	73名
〃（社会奉仕、ボランティア活動に功績顕著な個人）	5名
〃（共同募金運動推進団体）	2団体
社会福祉協議会会長褒賞（永年にかたり在宅要援護者の介護に携わり他の模範となる者）	9名
中央共同募金会会長感謝状（共同募金運動推進団体・個人）	1団体
岩手県共同募金会会長感謝状（共同募金運動推進団体・個人）	5団体
  - (ウ) 福祉作文・標語最優秀者表彰
 

福祉作文 小学校部門（低学年・中学年・高学年）、中学校部門	各部門1名
福祉標語 小学校部門（低学年・中学年・高学年）、中学校部門	各部門1名
  - (エ) 大会宣言採択
  - (オ) 記念講演
 

演題 「みんなで支える地域福祉」	
講師 浅野史郎氏（元宮城県知事／神奈川大学特別招聘教授）	

### (2) 社会福祉協議会会報「福祉もりおか」の発行

6,915 千円

社会福祉協議会活動の周知と地域福祉に関する情報提供を行うため会報を発行し、民生児童委員、町内会・自治会の協力により、市民全世帯に配布した。

- 1) 印刷サイズ タブロイド版（273mm×382mm）
- 2) 発行部数 1回につき121,500部（全戸配布）
- 3) 内容

号数	発行日	主な内容
195	5月15日	令和元年度事業計画概要・予算、民生委員PR、日常生活自立支援事業案内、シルバリーメイト事業案内、いわておげんき見守りシステム事業案内、紙おむつ支給事業案内、おでかけ送迎サービス案内、ぷらっとcab貸出案内、30年度歳末たすけあい運動実績報告、「みんなの福祉を応援事業」助成案内
196	7月15日	ボランティア紹介、ふれあい交流福祉茶会案内、ふれあい広場ボランティア募集、30年度事業・資金収支報告、地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業紹介、地区福祉懇談会開催案内、BBM紹介、地域サロン紹介
197	9月15日	共同募金運動PR、福祉大会PR、まるごとよりそいネットワークもりおか取り組み紹介、地区福祉懇談会開催案内、地区福祉推進会事業紹介、赤い羽根共同募金各助成内容紹介、特別賛助会員紹介
198	11月15日	生活支援体制整備事業紹介、歳末たすけあい運動紹介、福祉作文・標語コンクール、地域力強化推進モデル事業紹介、特別賛助会員紹介
199	1月15日	年頭のあいさつ、除雪ボランティア案内、台風19号義援金募集案内、地区福祉懇談会開催報告、教育支援資金の紹介、第58回盛岡市社会福祉大会開催報告・表彰者紹介、寄付

(3) インターネットを利用した情報発信

83 千円

社会福祉協議会の事業や活動、ボランティア活動に関する情報をインターネット上に公開して市民に参加を促すとともに、各種サービスの申請書等をホームページに掲載し、利用者の便宜を図った。

- 1) 公開アドレス (URL) <http://www.morioka-shakyo.or.jp/>
- 2) 来訪者数 延べ77,576 カウント (令和2年3月31日現在 総計 343,437 カウント)
- 3) 内容 (目次) 社協の紹介、在宅福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、各種相談、日常生活自立支援、ボランティア、介護保険、共同募金、管理運営施設、広報、各種申請書ダウンロード、地域福祉活動計画ダウンロード、地図リンク、募集情報

9. 総合福祉センターの管理運営

24,916 千円

盛岡市総合福祉センターにおいて外壁タイルの再固定化工事、避難器具(救助袋)の取替工事を実施したほか、4階講堂天井補修工事を実施し、市民の方々が当センターを安心して利用できるよう努めた。

前年度と比較して、盛岡市総合福祉センターでは、利用件数が1.1%減少したが、利用者数では2.7%の増加となった。また、玉山総合福祉センターでは、利用件数が1.6%減少したが、利用者数では33.0%の増加となった。

(1) 利用実績

1) 盛岡市総合福祉センター (盛岡市若園町2番2号)

【年間利用件数 2,542 件 利用者数 56,883 人】

階	種別	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
1F	レクリエーション室 兼催事場	件	25	24	30	30	27	31	28	24	25	21	23	18	306	26	
		人	764	616	816	682	596	481	412	610	693	701	545	311	7,227	602	
2F	ボランティアルーム	件	29	34	36	37	32	42	42	37	32	30	31	24	406	34	
		人	286	456	525	499	356	518	578	428	397	333	387	314	5,077	423	
3F	講習室兼会議室	件	35	38	33	32	29	40	29	35	29	24	25	28	377	31	
		人	540	582	557	514	506	613	513	512	445	264	316	331	5,693	474	
	小会議室	件	29	24	31	30	22	35	24	31	31	20	26	29	332	28	
		人	272	255	273	244	184	323	239	270	284	180	235	226	2,985	249	
	保育室	件	14	19	21	21	12	12	15	18	15	11	20	16	194	16	
		人	41	56	69	76	36	45	46	52	54	44	85	52	656	55	
	老人教養室	件	9	7	18	12	11	18	20	8	13	7	7	5	135	11	
		人	127	117	168	171	212	316	362	106	232	150	91	40	2,092	174	
	図書室	件	12	11	14	13	13	12	15	14	11	10	14	13	152	13	
		人	126	125	156	127	127	126	157	135	108	108	142	132	1,569	131	
	子供会研修室	件	26	21	25	26	23	31	33	26	23	16	23	16	289	24	
		人	874	546	711	684	701	1,105	1,058	933	721	652	656	382	9,023	752	
	4F	講堂	件	28	30	38	37	25	34	39	35	24	26	26	9	351	29
			人	2,020	1,681	2,460	1,856	1,466	2,290	2,103	2,751	1,307	2,078	2,017	532	22,561	1,880
合計		件	207	208	246	238	194	255	245	228	203	165	195	158	2,542	212	
		人	5,050	4,434	5,735	4,853	4,184	5,817	5,468	5,797	4,241	4,510	4,474	2,320	56,883	4,740	

2) 盛岡市玉山総合福祉センター (盛岡市浜民字泉田 360)

【年間利用件数 622 件 利用者数 16,690 人】

階	種別	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
1F	センターホール	件	4	4	4	10	7	9	9	5	4	6	10	2	74	6	
		人	109	113	139	844	919	917	618	94	48	116	209	7	4,133	344	
	栄養指導室	件	2	3	2	4	5	6	8	4	2	2	4	1	43	4	
		人	49	50	33	54	310	301	610	63	34	50	49	15	1,618	135	
	集会室	件	15	16	14	19	14	19	19	11	11	14	15	10	177	15	
		人	228	182	260	287	387	387	702	145	145	202	250	71	3,246	271	
	ボランティアルーム	件	2	2	1	2	1	4	2	4	4	4	5	6	10	43	4
		人	3	4	2	4	1	7	3	8	8	9	13	28	90	8	
	母子教養室	件	1	1	3	4	5	7	6	2	4	2	2	1	38	3	
		人	45	30	137	86	310	307	577	24	51	50	31	3	1,651	138	
	リハビリルーム	件	5	3	3	11	9	8	12	4	2	3	6	0	66	6	
		人	59	36	35	110	324	307	590	63	34	52	107	0	1,717	143	
	相談室	件	4	1	2	5	5	6	5	4	3	2	4	0	41	3	
		人	69	30	33	114	310	301	377	63	48	50	43	0	1,438	120	
2F	研修室(1)・(2)	件	9	5	5	5	5	4	8	9	5	8	14	3	80	7	
		人	186	74	53	96	52	42	319	131	60	111	221	51	1,396	116	
	教養室(1)・(2)	件	3	3	2	6	5	3	5	4	3	4	4	0	42	4	
		人	39	40	27	108	57	29	276	54	39	53	64	0	786	66	
	健康相談室・茶室	件	2	0	0	2	0	1	3	1	0	1	2	0	12	1	
		人	61	0	0	13	0	4	206	6	0	1	32	0	323	27	
	遊戯室	件	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
		人	0	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	42	4	
	図書室	件	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	0	
		人	0	0	4	0	0	0	242	0	0	0	1	0	247	21	
	作業室	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
		人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	
	合計	件	47	38	37	68	56	67	80	48	38	48	68	27	622	52	
		人	848	559	723	1,716	2,670	2,602	4,562	651	467	697	1,020	175	16,690	1,391	

(2) 団体別利用件数

1) 盛岡市総合福祉センター

区分		件数	割合
福祉団体	一般	714	28.1%
	障がい者	254	10.0%
	ボランティア	502	19.7%
	児童	201	7.9%
	高齢者	159	6.3%
	女性	355	14.0%
	小計	2,185	86.0%
行政	盛岡市(福祉)	147	5.8%
	盛岡市(一般)	128	5.0%
	岩手県(福祉)	0	0.0%
	岩手県(一般)	7	0.3%
	小計	282	11.1%
一般(有料)	75	2.9%	
その他	0	0.0%	
合計		2,542	100%

2) 盛岡市玉山総合福祉センター

区分		件数	割合
福祉団体	一般	185	29.7%
	障がい者	2	0.3%
	ボランティア	0	0.0%
	児童	45	7.2%
	高齢者	9	1.5%
	女性	1	0.2%
	小計	242	38.9%
行政	盛岡市(福祉)	303	48.7%
	盛岡市(一般)	34	5.5%
	岩手県(福祉)	0	0.0%
	岩手県(一般)	0	0.0%
	小計	337	54.2%
一般(有料)	29	4.6%	
その他	14	2.3%	
合計		622	100%

## 10. 職員の育成

### 1) 内部研修

実施年月日	研修名	内 容	対 象	人数
平成31年4月9日	新任等職員研修	・社会福祉協議会の仕組み ・社会福祉協議会の事業	採用後3年程度までの一般・嘱託職員等	9名
令和元年11月25日	中堅職員(I)研修	・中堅職員がさらに活躍するためのコミュニケーションとは ・中堅職員への期待と役割・行動	採用後8年以上の一般・嘱託職員	20名
令和2年1月20日	指導的職員等研修	・健康に働き続けるために～職場におけるラインケアの重要性～ ・指導的職員への期待と役割・行動	主任から課長補佐までの指導的職員及び児童館館長・学童クラブ所長補佐	21名

### 2) 主な外部研修

実施年月日	研修名及び研修場所	主催	人数
令和元年 5月20日～21日	令和元年度市町村社会福祉協議会部会基礎研修 於 ふれあいランド岩手	岩手県社会福祉協議会	2名
5月29日～31日	赤い羽根全国ミーティング in やまぐち 於 山口県山口市	中央共同募金会	1名
6月25日～26日	認知症地域支援推進員研修 於 TKPガーデンシティ仙台	認知症介護研究・研修東京センター	2名
8月21日～23日	地域福祉活動先進地視察研修 於 高知県南国市・大豊町社会福祉協議会	岩手県社会福祉協議会	1名
8月29日～30日	県央地区社協連絡協議会職員研修会 於 雫石プリンスホテル	県央地区社協連絡協議会	5名
9月9日～10日	生きがい・助け合いサミット in 大阪 於 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)	さわやか福祉財団	4名
9月15日～17日	社会福祉法名会計実務講座入門コース スクーリング 於 ロフォス湘南	全国社会福祉協議会	1名
9月26日～27日	県央地区社協先進地研修 於 北海道当別町社会福祉協議会	県央地区社協連絡協議会	2名
11月13日～15日	社会福祉法人会計実務講座初級コース スクーリング 於 ロフォス湘南	全国社会福祉協議会	1名
11月18日	県央地区社協ボランティア活動実践研究会 於 ゆはず交流館(岩手町立図書館)	県央地区社協連絡協議会	4名
令和2年 1月20日	岩手県地域福祉推進フォーラム 於 プラザおでって	岩手県	1名
1月28日～29日	地域福祉活動コーディネーター継続研修会・市町村社協部会第3回コミュニティソーシャルワーク研究会 於 アートホテル盛岡	岩手県社会福祉協議会	1名
2月6日	市町村社協中長期経営計画策定推進セミナー 於 ホテルニューカリーナ	岩手県社会福祉協議会	1名
2月7日	地域福祉推進トップセミナー 於 ホテルニューカリーナ	岩手県社会福祉協議会	2名

## 11. 組織体制

### (1) 評議員 (定数: 21~27名)

氏名	所属等	就任期間	摘要
長澤 涼子	盛岡市町内会連合会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
熊原 實	玉山地域自治会連絡協議会	平成31年4月1日～令和元年4月26日	退任
山内 一男	玉山地域自治会連絡協議会	令和元年6月4日～令和2年3月31日	
相馬 宏	盛岡市民生児童委員連絡協議会	平成31年4月1日～令和元年11月30日	退任
柳田 宏	盛岡市老人クラブ連合会	平成31年4月1日～令和元年5月25日	退任
鈴木 司朗	盛岡市老人クラブ連合会	令和元年12月12日～令和2年3月31日	
鎌田 まき子	盛岡市子ども会育成会連絡協議会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
小枝指 好夫	盛岡市地区福祉推進会長連絡会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
大平 憲光	盛岡市身体障害者協議会	平成31年4月1日～令和元年5月25日	退任
津志田 貞子	盛岡市身体障害者協議会	令和元年12月12日～令和2年3月31日	
長葎 常紀	盛岡市手をつなぐ育成会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
松本 笑子	盛岡市母子寡婦福祉協会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
藤村 正彦	盛岡地区保護司会	平成31年4月1日～令和元年11月15日	退任
工藤 昭視	盛岡地区保護司会	令和元年12月12日～令和2年3月31日	
浅沼 道成	もりおかNPO連絡協議会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
遠藤 真喜男	盛岡市ボランティア連絡協議会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中川 政則	盛岡市社会福祉事業団	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中村 伸之	盛岡市老人福祉施設連絡協議会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
高橋 学	盛岡市保育所協議会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 誠司	盛岡商工会議所	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
金子 博純	盛岡市医師会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
鈴木 洋之介	盛岡市歯科医師会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
石川 耕司	盛岡市小学校長会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
大越 千晶	盛岡市中学校長会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中村 庄藏	盛岡市PTA連合会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
五十嵐のぶ代	盛岡市教育委員会	令和元年6月4日～令和2年3月31日	
伊藤 節子	盛岡市保健推進員協議会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐久山久美子	盛岡市子ども未来部	令和元年6月4日～令和2年3月31日	
下田 法子	盛岡市保健福祉部	平成31年4月1日～令和2年3月31日	退任
千葉 伸行	盛岡市議会	平成31年4月1日～令和元年9月10日	退任
大畑 正二	盛岡市議会	令和元年12月12日～令和2年3月31日	
山中 俊介	岩手弁護士会	令和元年6月4日～令和2年3月31日	

## (2) 理事・監事 (定数: 理事9~13人 (内会長1名、副会長3名以内)、監事2~3名)

役職	氏名	所属等	就任期間	摘要
会長	川村 裕	学識経験者	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
副会長	米田 ハツエ	盛岡市民生児童委員連絡協議会会長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	竹田 孝男	学識経験者	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	平井 興太郎	盛岡市町内会連合会会長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
理事	川村 一男	学識経験者	平成31年4月1日~令和元年6月18日	退任
	佐々木 由勝	玉山地域自治会連絡協議会会長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	菅原 隆浩	盛岡市老人福祉施設連絡協議会会長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	及川 陸男	盛岡市老人クラブ連合会会長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	千葉 健一	盛岡市地区福祉推進会会長連絡会会長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	三田地 宣子	学識経験者	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	村上 淳	盛岡市保健福祉部長	令和元年6月18日~令和2年3月31日	
	山屋 理恵	インクルいわて理事長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
常務理事	加藤 彰	学識経験者	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
監事	高橋 良三	学識経験者	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	丹代 一志	税理士	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	松本 弘子	司法書士	平成31年4月1日~令和2年3月31日	

## (3) 評議員選任・解任委員 (外部委員3名、監事1名、事務局員1名)

区分	氏名	所属等	就任期間	摘要
外部委員	宮城 好郎	岩手県立大学社会福祉学部社会福祉学科長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	小原 俊彦	盛岡観光コンベンション協会専務理事	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
	西舘 政美	岩手日報社取締役総務局長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
監事	高橋 良三	盛岡市社会福祉協議会監事	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
事務局員	千葉 英亨	盛岡市社会福祉協議会参事兼総務課長	平成31年4月1日~令和2年3月31日	

## (4) 職員（総数214名）

所属・事業所等	職員数			
	正規職員	嘱託職員	臨時職員	非常勤職員
事務局	17	16		25
事務局長・参事・総務課	5	2		4
地域福祉課 課長・地域福祉係	6	4		3
相談事業（心配ごと）				(3)
生活支援係	2	9		18
（地域福祉権利擁護センター）		(5)		(18)
在宅福祉課 在宅福祉係	4	1		
玉山支所	3	3	2	4
盛岡駅西口介護サービス事業所	1	13		32
老人デイサービスセンター	1	3		13
ヘルパーステーション（指定居宅介護事業所）		5		19
指定居宅介護支援事業所		5		
盛岡駅西口地域包括支援センター	4	2		
月が丘介護サービス事業所	2	10		31
老人デイサービスセンター	1	3		15
ヘルパーステーション（指定居宅介護事業所）		3		16
指定居宅介護支援事業所	1	4		
みたけ・北厨川地域包括支援センター	3	2		
児童館	6	8		16
巻堀児童館	2	1		2
日戸児童館	2			2
好摩児童館	1	2		1
生出児童館		3		4
渋民児童館	1	2		7
学童クラブ		4		10
都南こどもの家		2		6
城内学童クラブ（休止）				
外山学童クラブ		2		4
合計	36名	58名	2名	118名